

Endeavor

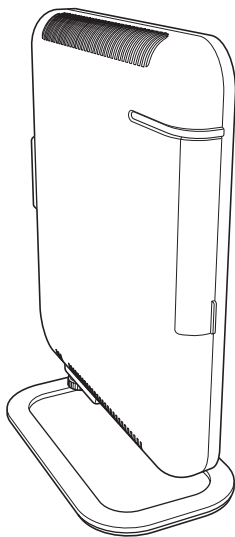
NP12

ユーザーズマニュアル

Windows 7

本機でできること

本機は、静音性・低消費電力に優れた、コンパクトサイズのコンピューターです。



本機では、主に次のようなことができます。

ネットワークに接続する

 p.44

画面表示を調節する

 p.38

インターネットやメールを利用する

 p.46

USB機器を接続して使う

 p.36

音声の入力・出力をする

 p.40

省電力機能を使う

 p.55

PCお役立ちナビを使う

 p.28

システム診断ツールを使う

 p.110

目次

本機でできること	2
----------	---

ご使用の前に

製品保護上の注意	6
使用・保管時の注意	6
記録メディア	7
マウス	8
マニュアル中の表記	9
各部の名称と働き	13
本体前面	13
本体背面	14
添付されているソフトウェア	15

コンピューターの基本操作

電源を入れる・切る	18
電源を入れる	18
電源を切る	19
スリープにする	19
再起動する	20
ハングアップしたときは	21
Windows使用時の確認事項	22
Windows 7の使用方法	22
コントロールパネルの表示	23
フォルダーメニューの表示	23
ユーザーアカウントを作る	24
ユーザーアカウント制御画面	25
Windows Live Suite	26
PCお役立ちナビを使う	28
キーボードを使う	30
キーの種類と役割	30
文字を入力するには	31
日本語を入力するには	31
キーロック表示ランプ	32
マウスを使う	33
マウスの操作	33
マウスの設定変更	33
HDDを使う	34
データのバックアップ	34
購入時のHDD領域	34
HDDを分割して使用する	35
USB機器を使う	36
USB機器の接続と取り外し	36
画面表示機能を使う	38
表示に関する各種設定	38
表示できる解像度と表示色	39
サウンド機能を使う	40

オーディオ機器の接続	40
音量の調節	41
サウンドユーティリティを使う	42
ネットワーク機能を使う	44
ネットワークの構築	44
インターネットへの接続	44
Wakeup On LAN	45
リモートブート	45
インターネットに接続するには	46
インターネットや電子メールを利用する	46
インターネットを使用する際のセキュリティ対策	49
Windows Update	49
セキュリティソフトウェア	50
Webフィルタリングソフトウェア	52
省電力機能	55
本機を省電力状態にする	55
省電力状態に移行する方法	58

BIOSの設定

BIOSの設定を始める前に	61
BIOS Setupユーティリティの操作	62
BIOS Setupユーティリティの起動	62
BIOS Setupユーティリティの操作	63
BIOS Setupユーティリティの終了	66
設定値を元に戻す	66
パスワードを設定する	68
HDDアクセス制限	70
BIOS Setupユーティリティの設定項目	71
Mainメニュー画面	71
Advancedメニュー画面	72
Powerメニュー画面	73
Bootメニュー画面	74
Securityメニュー画面	75
Exitメニュー画面	76
BIOSの設定値	76

ソフトウェアの再インストール

再インストールする前に必ずお読みください	79
重要事項	79
ソフトウェアの再インストールを行う	81
必要な機器とメディア	81
インストールの順番	81
インストール作業における確認事項	82
Windowsのインストール	83
Windows 7をインストールする	84
本体ドライバーのインストール	87

Adobe Readerのインストール	88
Windows Live Suiteのインストール ...	89
セキュリティーソフトウェアのインストール ...	90
WDLCフォトガジェットのインストール ...	90
Webフィルタリングソフトウェアの インストール	91
JWord Pluginのインストール	92
gooスティックのインストール	93
そのほかのインストール	93
再インストール後の作業	94

困ったときは

トラブルが発生したら	96
起動・画面表示できる場合...	
PCお役立ちナビで調べる	96
起動・画面表示できない場合	97
起動・画面表示できないときは	98
診断をする	98
対処をする	99
エラーメッセージ一覧	104
トラブル時に効果的な対処方法	105
セーフモードでの起動	106

常駐ソフトの停止	106
システムの復元	106
前回正常起動時の構成で起動する	107
Windows回復環境 (Windows RE) を使う ...	108
システム診断ツールを使う	110

付録

お手入れ	114
本機のお手入れ	114
データのバックアップ	115
PCお役立ちナビのデータをバックアップする ...	115
データのバックアップ方法	116
HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成	117
HDD領域を分割して使用する (概要) ...	117
Cドライブを分割・変更する	118
Cドライブ以外のドライブを作成・変更する ...	121
Cドライブ以外のドライブを削除する ...	123
リチウム電池の交換	125
コンピューターを廃棄するときは	126
HDDのデータを消去する	126
機能仕様一覧	128
索引	129

ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

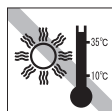
「製品保護上の注意」	6
「マニュアル中の表記」	9
「各部の名称と働き」	13
「添付されているソフトウェア」	15

製品保護上の注意

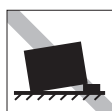
▶使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体およびACアダプターなどの同梱品に適用されます。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は10°C～35°Cです。



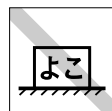
不安定な所には設置しないでください。落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



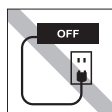
テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。本機の誤動作が生じたり、データが破損したりすることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



コンピューター本体を横置きにしないでください。故障、誤動作の原因となります。本機は縦置き専用に設計されています。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



移動するときには、振動や衝撃を与えないようにしてください。内蔵の周辺機器（HDDなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



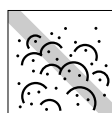
本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



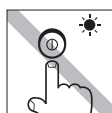
他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルなどはすべて取り外してください。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



ACアダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。



ACアダプターはコードを持って抜き差ししないでください。コードの断線や接触不良の原因となります。

▶記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

<記憶メディアの種類>

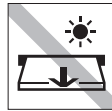
FD FD

CD 光ディスクメディア

記録メディアの種類を指定していない場合は、すべての記録メディアに適用されます。



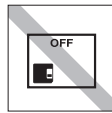
直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



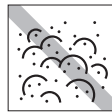
上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。

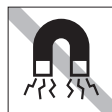


アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。



磁性面や金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

FD



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

FD



何度も読み書きしたFDは使わないでください。磨耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

FD



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

CD



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

CD



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

CD



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

CD



シールを貼らないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

CD

▶マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



持ち運びの際は、マウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



落としたり、ぶついたりして強い衝撃を与えないでください。



レンズ部分に触れないでください。

マニュアル中の表記

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。
例) 『サポート・サービスのご案内』: 本機に添付の『サポート・サービスのご案内』を示します。




参照先を示します。



1 2



操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。



 はEnterキーを表します。また、 は $\text{N}_{\text{み}}$ のことで、このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。
この例では、 を押したまま  を押します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CDメディア、DVDメディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する記述

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 7	Windows 7 [®] Home Premium
-----------	-------------------------------------

HDD容量の記述

本書では、HDD容量を1GB（ギガバイト）=1000MBとして記載しています。

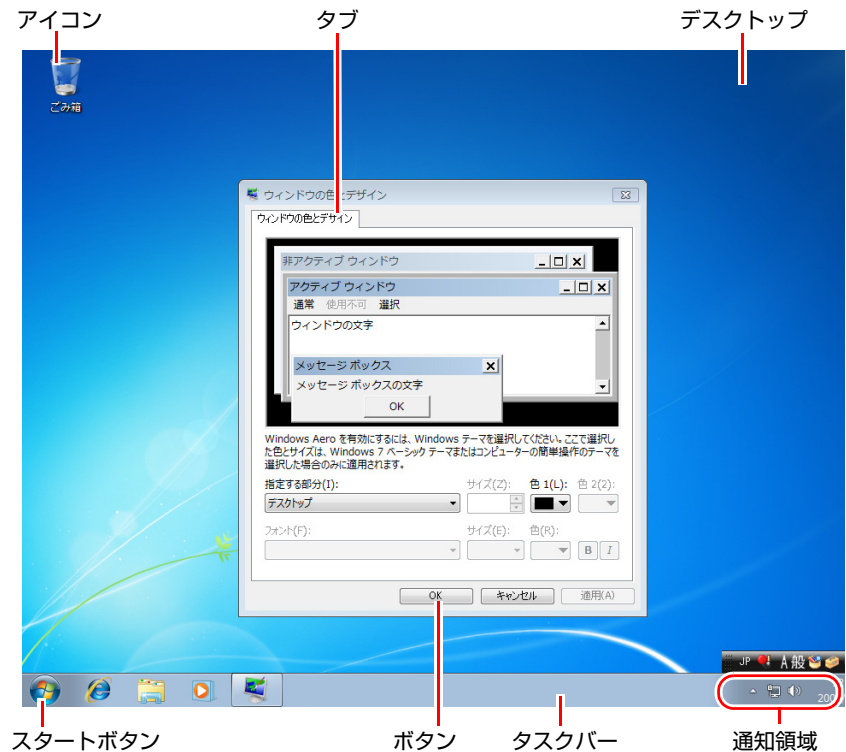
メモリー容量の記述

本書では、メモリー容量を1GB（ギガバイト）=1024MBとして記載しています。

Windowsの画面表示に関する記載方法

デスクトップ画面

本書では、Windowsの画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。



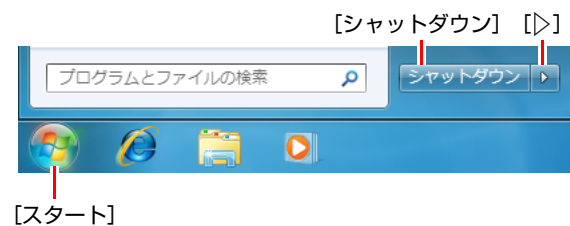
ボタン

ボタンは [] で囲んで記載します。

例) : [OK]

スタートメニュー

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。



画面操作

本書では、Windowsの画面上で行う操作手順を次のように記載します。

- 記載例

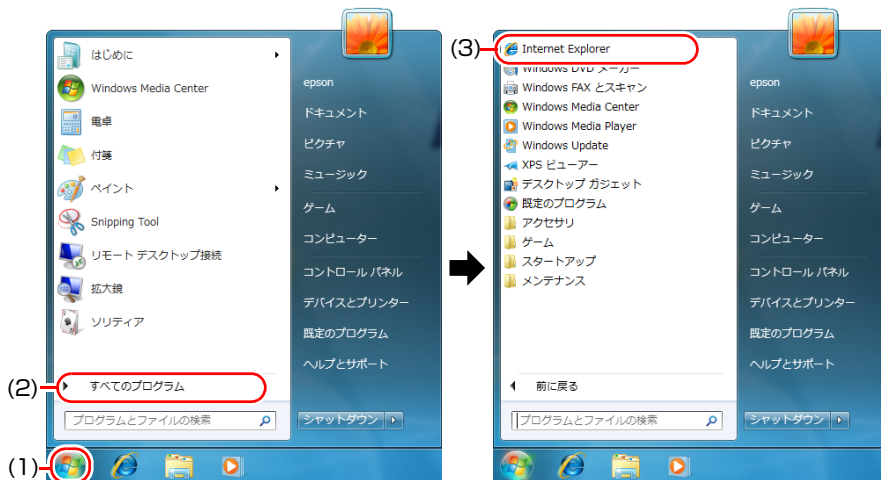
[スタート] – 「すべてのプログラム」 – 「Internet Explorer」をクリックします。

- 実際の操作

(1) [スタート] をクリックします。

(2) 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。

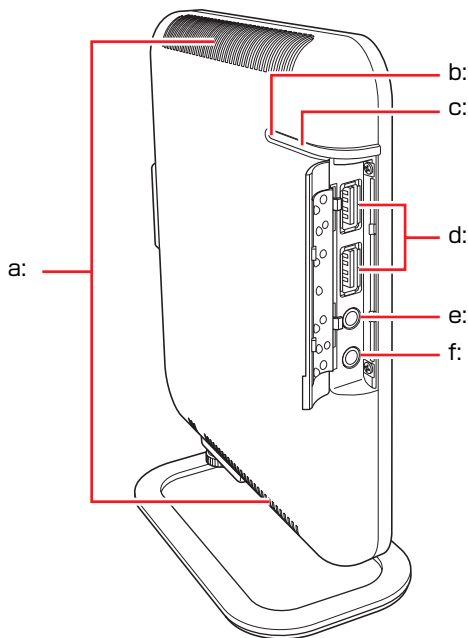
(3) 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。



※表示される項目は、システム構成によって異なります。

各部の名称と働き

▶ 本体前面



a: 通風孔

コンピューター内部で発生する熱を逃がしたり、外気を取り入れます。

b: HDDアクセスランプ

HDDアクセス中に緑色に点灯・点滅します。

c: 電源スイッチ/電源ランプ

本機の電源の入/切を行います。また、電源ランプにより電源状態を示します。

青色点灯：通常

青色点滅：スリープ

消灯：電源切断時または休止状態

d: USBコネクター

USB対応機器を接続します。

e: ヘッドホン出力コネクター

スピーカーやヘッドホンなどを接続します。

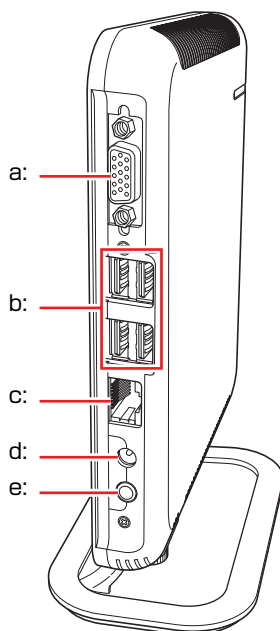
f: マイク入力コネクター


マイクを接続します。




アクセスランプが点灯・点滅しているときに本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。データが破損するおそれがあります。

▶ 本体背面




a: VGAコネクタ 


ディスプレイとVGAケーブルで接続
します。

b: USBコネクタ 


USB対応機器を接続します。

c: LANコネクタ 

LANケーブルを接続します。

d: ACアダプターコネクタ 

付属のACアダプターを接続します。

e: ライン出力コネクタ 



アンプ内蔵スピーカーやヘッドホ
ンなどを接続して音声を出力しま
す。

添付されているソフトウェア

購入時、本機にインストールされているソフトウェアと、購入後、必要に応じてインストールするソフトウェアは次のとおりです。


本機にインストールされているソフトウェア

購入時、次のソフトウェアは、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none">● Windows 7 本機のおペレーティングシステム (OS) です。	 Windows 7リカバリー DVD
<ul style="list-style-type: none">● ビデオドライバー Windowsを高解像度・多色で表示するためのドライバーです。	 ドライバー CD
<ul style="list-style-type: none">● サウンドドライバー サウンド機能を使用するためのドライバーです。	
<ul style="list-style-type: none">● ネットワークドライバー ネットワーク機能を使用するためのドライバーです。	
<ul style="list-style-type: none">● Java2 Runtime Environment Javaアプリケーションを実行するためのソフトウェアです。	
<ul style="list-style-type: none">● PCお役立ちナビ コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。	
<ul style="list-style-type: none">● Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。	
<ul style="list-style-type: none">● マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐWebセーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザープラス」も含まれています。	
<ul style="list-style-type: none">● Windows Live Suite 「Windows Liveメール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。	
<ul style="list-style-type: none">● WDLICフォトガジェット デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。	

必要に応じてインストールするソフトウェア


次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じて「初期設定ツール」または「ドライバー CD」からインストールしてください。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● i-フィルター 5 30 日版 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを防止する Web フィルタリングソフトウェアです。 	 ドライバー CD
<ul style="list-style-type: none"> ● JWord Plugin Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索するためのソフトウェアです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● gooスティック Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するためのソフトウェアです。 	

その他のソフトウェア

次のソフトウェアは、インストールの必要はありません。外付け光ディスクドライブを接続して、CD から起動して実行します。

 p.110 「システム診断ツールを使う」

その他のソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● システム診断ツール コンピューターの調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD内のデータを消去することもできます。 	 ドライバー CD

第1章 コンピューターの基本操作

電源の入れ方・切り方、キーボードやマウスの使用方法など、本機の基本操作について説明します。

「電源を入れる・切る」	18
「Windows使用時の確認事項」	22
「PCお役立ちナビを使う」	28
「キーボードを使う」	30
「マウスを使う」	33
「HDDを使う」	34
「USB機器を使う」	36
「画面表示機能を使う」	38
「サウンド機能を使う」	40
「ネットワーク機能を使う」	44
「インターネットに接続するには」	46
「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」	49
「省電力機能」	55

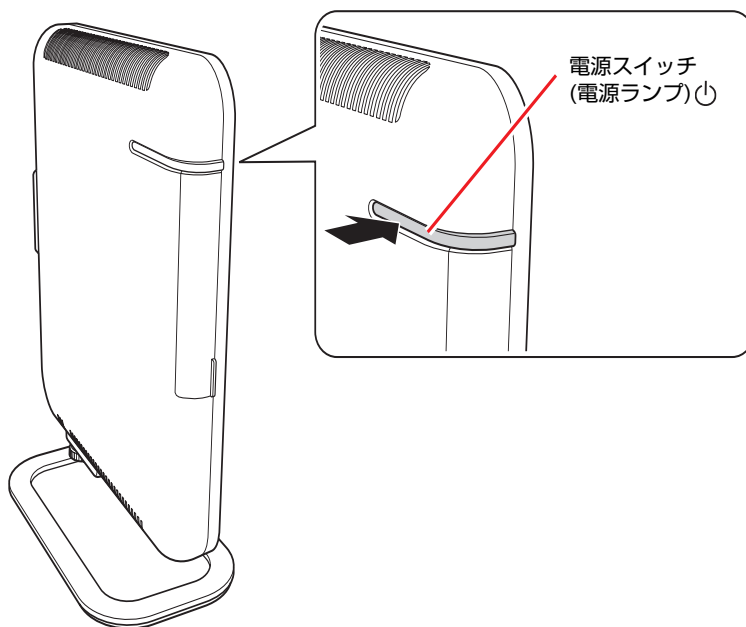
電源を入れる・切る

電源の入れ方や切り方、再起動や強制終了の方法を説明します。

▶電源を入れる

本機の電源を入れる方法は、次のとおりです。


- 1 ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。
- 2 本機を手で支えながら、電源スイッチ (⏻) を押して、電源を入れます。
電源ランプが青色に点灯します。



画面に「EPSON」と表示され、しばらくするとWindowsが起動します。

参考

電源が入らないときは

電源が入らないときは、 p.98 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

▶電源を切る



- 電源を切って、もう一度電源を入れる場合は、電源を入れるときに電気回路に与える電氣的な負荷を減らし、HDDなどの動作を安定させるために、20秒程度の間隔を空けてください。
- HDDなどのアクセスランプ点灯中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。


- 1 [スタート] (🌐) - 「シャットダウン」をクリックします。
Windows が終了し、自動的に電源が切れます。
- 2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。



シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、[いいえ]をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

▶スリープにする

本機をスリープにして終了すると、本機は低電力の状態になります。スリープからは、数秒で通常の状態に復帰することができます。
スリープについての詳しい説明は、 p.55 「省電力機能」をご覧ください。

終了方法

本機をスリープにして終了する方法は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - [D] - 「スリープ」をクリックします。
本機がスリープになります。画面表示が消え、電源ランプ (🔌) が点滅します。

復帰方法



復帰の際、周辺機器はスリープに入る前と同じ状態にしてください。
スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

本機をスリープから復帰させる方法は、次のとおりです。

1 電源スイッチ（）を押します。

本機が通常状態に復帰します。

そのほかの復帰方法については、 p.59 「省電力状態からの復帰方法」をご覧ください。

▶再起動する

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windows の動作が不安定になった場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート] - [D] - 「再起動」をクリックします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

▶ ハングアップしたときは

ソフトウェアやWindows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。
ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。ソフトウェアの強制終了をしても状態が改善されない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。
「Windows タスクマネージャー」が起動します。
- 3** 「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して [タスクの終了] をクリックします。

強制的に電源を切る

Ctrl + **Alt** + **Delete** を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 電源スイッチ (⏻) を5秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

Windows使用時の確認事項


「セットアップ完了後の作業」が終わると、Windowsを使用できます。ご使用の前に次の事項を確認してください。

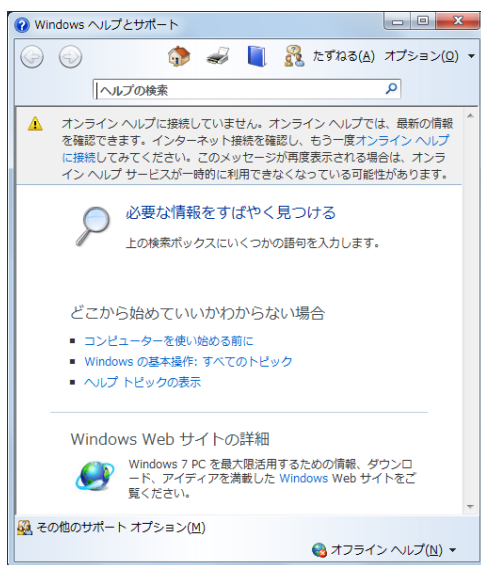
▶ Windows 7の使用方法

Windows 7の使用方法は、次をご覧ください。


● ヘルプとサポート

「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] () - 「ヘルプとサポート」



● PCお役立ちナビ

 p.28 「PCお役立ちナビを使う」



▶コントロールパネルの表示

本書では、コントロールパネルの表示が「カテゴリ」であることを前提に記載しています。

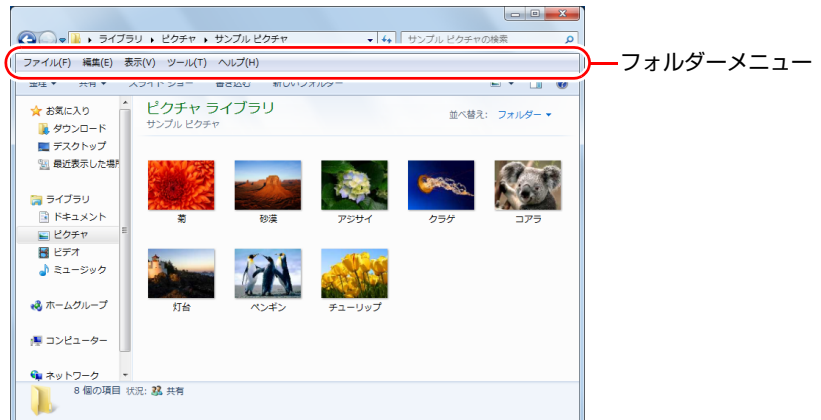


<表示方法：カテゴリ>

▶フォルダーメニューの表示

Windows 7では、「ファイル」や「ツール」などのフォルダーメニューが標準では表示されません。

フォルダーメニューを表示したい場合は、**[Alt]** を押します。もう一度 **[Alt]** を押すと、フォルダーメニューは表示されなくなります。



常にフォルダーメニューを表示する

常にフォルダーメニューを表示したい場合は、次の設定を行ってください。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォルダーオプション」 - 「表示」タブ - 「常にメニューを表示する」にチェックを付けます。

▶ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成します。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windowsをユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

【スタート】－【コントロールパネル】－【ユーザーアカウントと家族のための安全設定】－【ユーザーアカウント】－【別のアカウントの管理】－【新しいアカウントの作成】


ユーザーアカウントの種類（権限）は、ユーザーに応じて設定してください。

ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの種類（権限）には、次の2つがあります。

- **管理者**
すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバー、ソフトウェアのインストールをすることができます。
購入時やリカバリー時のWindowsのセットアップで入力したユーザー名（アカウント）は、「管理者」になります。
- **標準ユーザー**
一部のシステム項目の変更や、ドライバー、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

▶ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで  が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ドライバーやソフトウェアのインストールをしようとする、と、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。



表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、ユーザーアカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントでログオンした状態を前提に記載しています。

▶ Windows Live Suite

本機には、Windows Liveの以下のソフトウェアがインストールされています。

- Windows Live メール
- Windows Live Messenger
- Windows Live フォトギャラリー
- Windows Live Writer
- Windows Live ムービーメーカー
- Microsoft Silverlight

起動方法

Windows Live Suiteの各ソフトウェアは、次の場所から起動します。

[スタート] – 「すべてのプログラム」 – 「Windows Live」

使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次の場所をご覧ください。

- 各ソフトウェアのヘルプ
- 「PCお役立ちナビ」画面下「ユーザーサポート」 – 「FAQ 番号：29148」
- Windows Liveのヘルプページ
<http://help.live.com>

Windows Live IDを作成する

Windows Liveを使用するには、Windows Live IDが必要になります。Windows Live IDは無償で作成することができます。インターネットへ接続後、各ソフトウェアの「サインイン」画面で作成してください。

次のいずれかのサービスをご利用の場合は、そのアカウントをWindows Live IDとして使うことができます。

- MSN Hotmail
- MSN Messenger
- Microsoft Passport

サポートについて

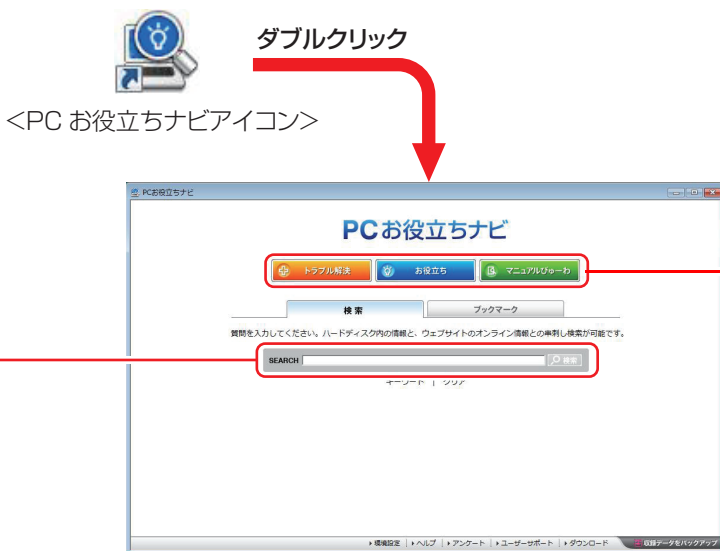
Windows Live Suiteのサポートは、マイクロソフト社で行っています。無償サポートは、電子メールのみです。

サポートの詳細は、次のWebページをご覧ください。

<http://support.live.com>

PCお役立ちナビを使う

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。

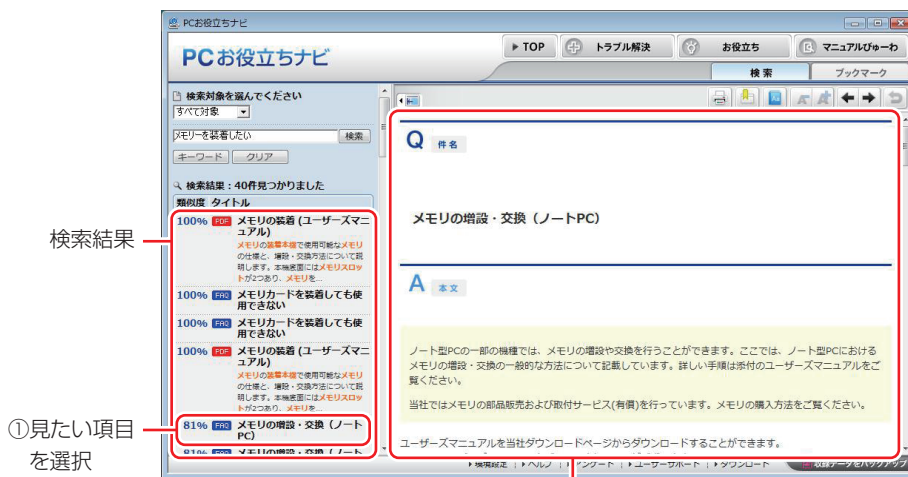


① 検索をする

TOPページから
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。



検索結果

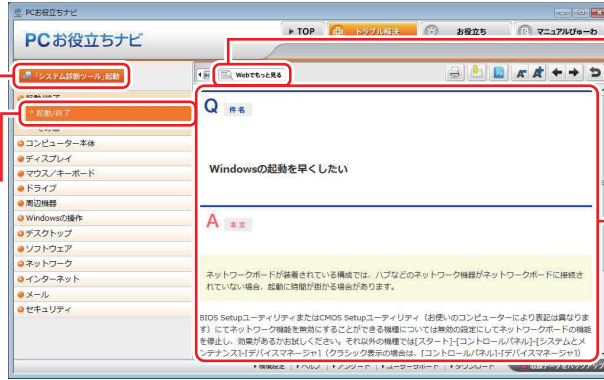
① 見たい項目
を選択

② 内容が表示される

② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決 トラブルを解決するのに役立つ情報を収録しています。

- ① トラブルの種類
を選択

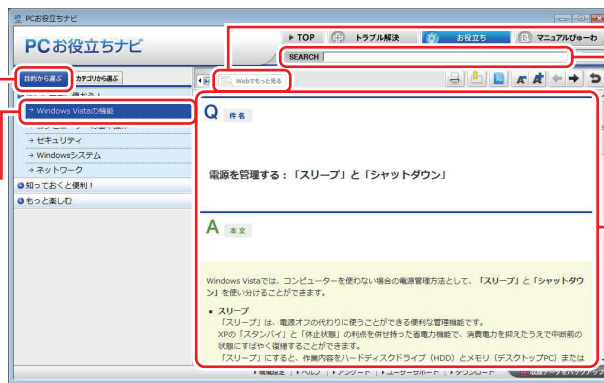


もっと情報が見たいとき
→Webへ

② 内容が表示される

お役立ち コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

- ① 情報の分類を
を選択
- ② 見たい項目を
を選択



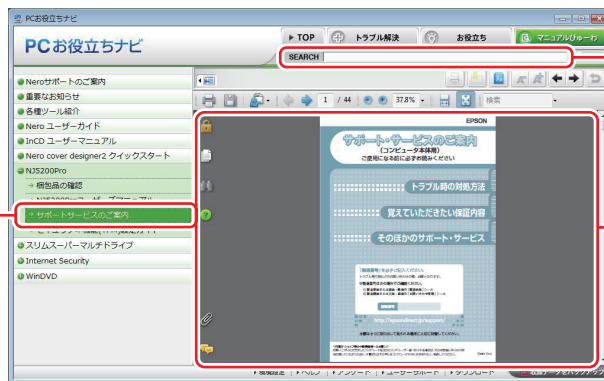
もっと情報が見たいとき
→Webへ

「お役立ち」内の情報を
を検索

③ 内容が表示される

マニュアルびゅーわ 本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

- ① 見たいマニュアル
を選択



「マニュアルびゅーわ」
内の情報を検索

② マニュアル (PDF)
が表示される

<画面はイメージです>

キーボードを使う

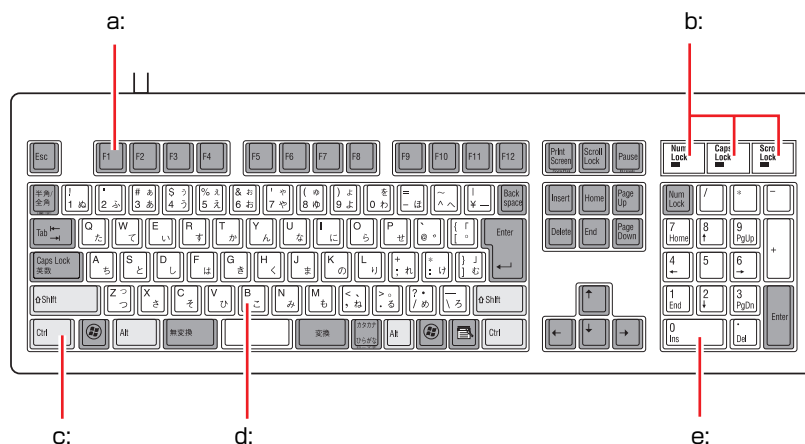
ここでは、一般的なキーボードについて説明します。

キーボードのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

▶キーの種類と役割

キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。


入力キー



a: 機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。

b: キーロック表示ランプ

 p.32「キーロック表示ランプ」


c: 制御キー

文字キーや機能キーの働きを変化させます。単独では機能しません。

d: 文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

e: 数値キー


数字、演算子などを入力します。 の状態によりキーの機能が変わります。

▶文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。

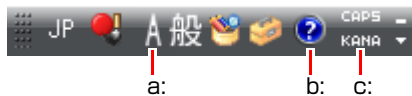
日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

▶日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IMEの使い方

MS-IMEパネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



a: 入力モード

入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

b: ヘルプ

MS-IMEの詳しい説明を見ることができます。

c: かなキーロック

日本語入力モードの切り替えを行います。








ボタンが押されていない状態：ローマ字入力

ボタンが押されている状態：かな入力

MS-IME以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

▶キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え方	 を押す
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの太文字/小文字の切り替え
	切り替え方	 +  を押す
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。
	切り替え方	 を押す

マウスを使う

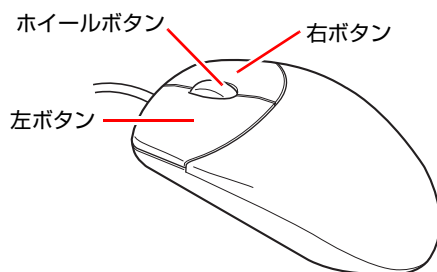
ここでは、一般的なマウスについて説明します。
マウスにマニュアルが添付されている場合は、本書と合わせてご確認ください。

▶マウスの操作



制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- アプリケーションソフトによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。

▶マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」

HDDを使う

本機には、シリアルATA300MB/s対応のHDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。

HDDは、大容量のデータを高速に記録する記憶装置です。




制限

- HDDのアクセスランプ点灯・点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点灯・点滅中は、コンピューターがHDDに対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えるとHDDが故障するおそれがあります。衝撃を与えないように注意してください。
- HDDが故障した場合、HDDのデータを修復することはできません。

▶データのバックアップ

HDDに記録されている重要なデータは、USB記憶装置などにバックアップしておくことをおすすめします。万一HDDの故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップ方法は、 p.115 「データのバックアップ」をご覧ください。


▶購入時のHDD領域

購入時のHDDは、次のように設定されています。

ドライブ（領域）	容量
消去禁止領域	約500MB
Cドライブ	残り

消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、Windows回復環境（Windows RE）が設定されています。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。

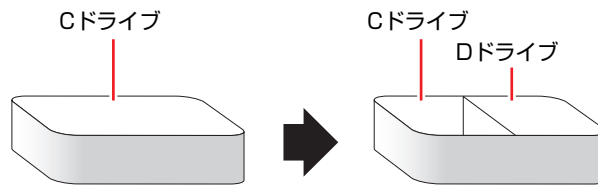
 p.108 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

▶HDDを分割して使用する

1台のHDDは、いくつかに分割してそれぞれ別のドライブとして使用することができます。

<1台のHDDを分割する>

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割することができます。



Cドライブを分割する場合は、Windowsの再インストールが必要です。
詳しくは、[👁️](#) p.118 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

USB機器を使う

本機にはUSB2.0に対応したUSBコネクタが前面に2個、背面に4個、合計6個搭載されています。


USBコネクタにはUSB対応の機器を接続します。6個のコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。

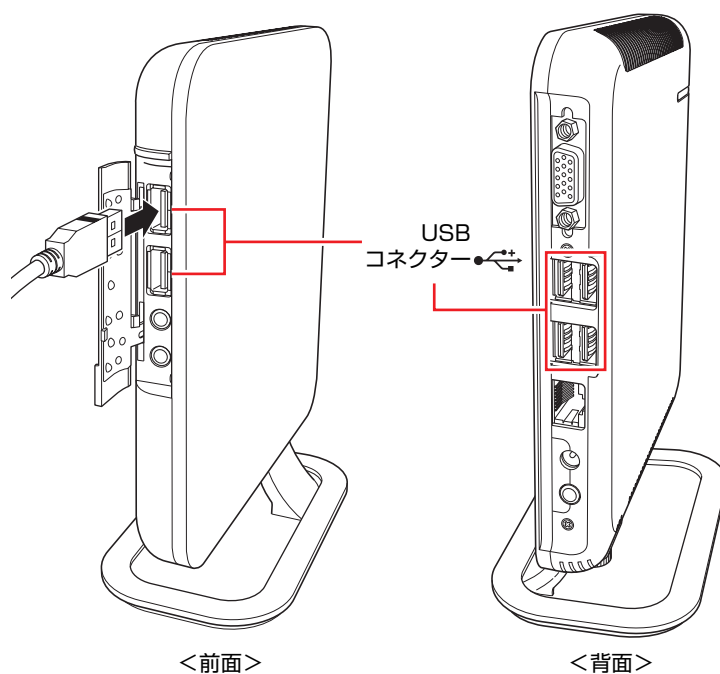
▶USB機器の接続と取り外し

USB機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

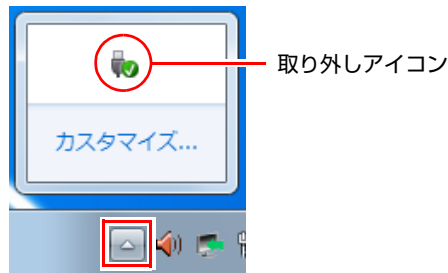
USB機器の接続

USB機器の接続方法は次のとおりです。

- 1 USB機器のUSBコネクタを、本機のUSBコネクタ（）に接続します。



- 2** USB 機器によっては、通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



接続するUSB機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは、USB機器のマニュアルをご覧ください。

USB機器の取り外し

USB機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

● そのまま取り外す

通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

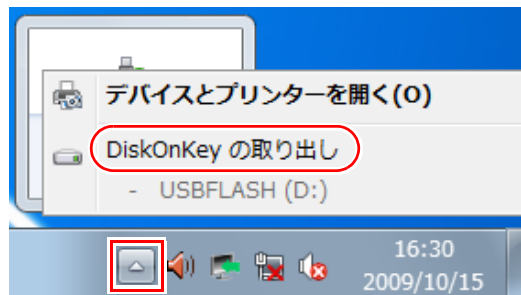
● USB機器の終了処理をして取り外す

通知領域－ [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB機器の終了方法は次のとおりです。

- 1** 「通知領域」－ [△] － 「取り外し」アイコン－ 「(取り外したいUSB機器)の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



- 2** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、USB機器を本機から取り外します。

画面表示機能を使う

本機のマザーボード上には画面表示機能が搭載されています。
ここでは、表示するディスプレイや解像度などの設定方法について説明します。

▶表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

デスクトップ上の何も無いところで右クリックー「画面の解像度」

ディスプレイ表示の変更

検出(C)
識別(I)

ディスプレイ(S): 1. LD1731W

解像度(R): 1280 × 1024 (推奨)

向き(O): 横

詳細設定

テキストやその他の項目の大きさの変更
どのディスプレイ設定を選択しますか?

OK キャンセル 適用(A)

解像度を設定します

使用しているディスプレイの名称

表示機能や表示装置に関する詳細設定を行います(色数やリフレッシュレートなど)

▶表示できる解像度と表示色

本機の画面表示機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。

- 解像度 ピクセル（横×縦）

800×600

1024×768

1280×1024

1360×768*

1440×900*

1600×1200

1680×1050*

1920×1200*

*ワイド表示

- 表示色

中（16ビット） / 最高（32ビット）



制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示モードや接続するディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。

- 解像度や表示色が高いと、動画再生ソフトで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を下げてください。

サウンド機能を使う

本機のマザーボード上には、サウンド機能が搭載されています。
本機にスピーカーは内蔵されていません。本機からの音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があります。



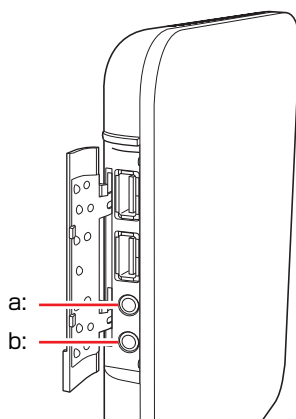
ヘッドホンやスピーカーを使用する場合は、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。


▶オーディオ機器の接続


本機の前面と背面には、スピーカーやマイクなどのオーディオ機器を接続するためのサウンドコネクタが装備されています。

各コネクタの位置は、次のとおりです。

前面側



a: ヘッドホン出力コネクタ 
スピーカーやヘッドホンなどを接続します。

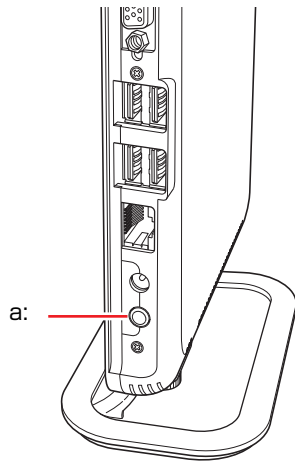
b: マイク入力コネクタ 
マイクを接続します。入力した音声は、本機のサウンド機能を使って、録音や再生を行うことができます。


参考

使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデンサーマイクです。

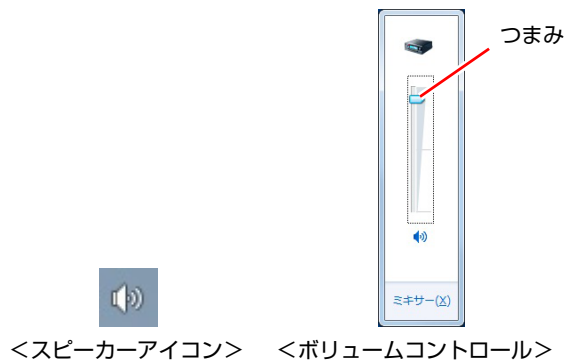
背面側



- a: ライン出力コネクタ 
- アンプ内蔵スピーカーやヘッドホンなどを接続して、音声を出力します。

▶ 音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン（白色）をクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



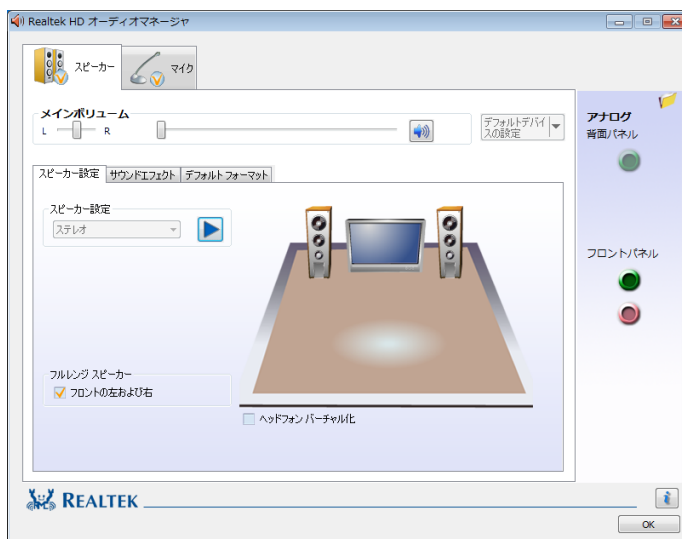
▶サウンドユーティリティを使う

サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、通知領域－[△]内の「Realtek HDオーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルクリックします。



次の画面が表示されます。




※ 「スピーカー」、「マイク」タブは、機器接続時のみ表示されます。

マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。



※「マイク」タブは、マイク接続時のみ表示されます。

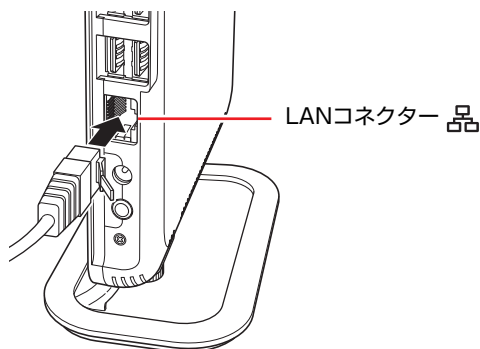
録音時に音量を調節しても音が小さいときは、をクリックしてマイクブーストのつまみを右へスライドさせて、音量を上げてください。

ネットワーク機能を使う

本機のマザーボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能（LAN機能）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。


ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面のLANコネクタに市販のLANケーブルを接続します。



▶ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LANケーブルやハブ（サーバー）などが必要です。そのほかに、Windows上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定などが必要になります。ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。



- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
 p.58 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

▶インターネットへの接続

インターネットへ接続する場合は、 p.46 「インターネットに接続するには」をご覧ください。

▶ Wakeup On LAN

本機では、Wakeup On LAN機能を使用することができます。Wakeup On LANとは、ネットワークからの信号により本機を起動させる機能です。



シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。

Wakeup On LAN機能を有効にする

購入時、本機のWakeup On LAN機能は無効に設定されています。
Wakeup On LANを行う場合は、BIOSの設定が必要です。

「BIOS Setupユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面－「APM Configuration」

「Power On by PCI Devices」: Enabled (有効)



p.63 「BIOS Setupユーティリティの操作」



p.73 「Power メニュー画面」



Wakeup On LANを設定している場合

BIOSの設定で、Wakeup On LAN (Power On by PCI Devices) が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

▶ リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上からWindowsをインストールすることができます。

インターネットに接続するには

インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーと契約すると、メールアドレスやパスワードなどインターネットへの接続に必要な情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。説明書に従って接続作業を行ってください。



再インストール後のインターネット接続

Windowsを再インストールした場合は、インターネットに接続するための設定作業が再度必要になります。プロバイダーからの説明書はなくさないように大切に保管してください。

▶インターネットや電子メールを利用する

本機では、次のソフトウェアを使用してインターネットや、電子メールを利用します。

- ホームページの閲覧：Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）
- 電子メールの利用：Windows Liveメール



Officeをインストールしているときは

Officeをインストールしている場合は、電子メールソフトOutlookを使用することもできます。

Outlookの使用方法は、Outlookのヘルプをご覧ください。

各ソフトウェアの起動方法

各ソフトウェアの起動方法は、次のとおりです。

● Internet Explorer

デスクトップ左下のアイコンから起動します。



<Internet Explorerアイコン>

● Windows Live メール

次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Live」 - 「Windows Live メール」

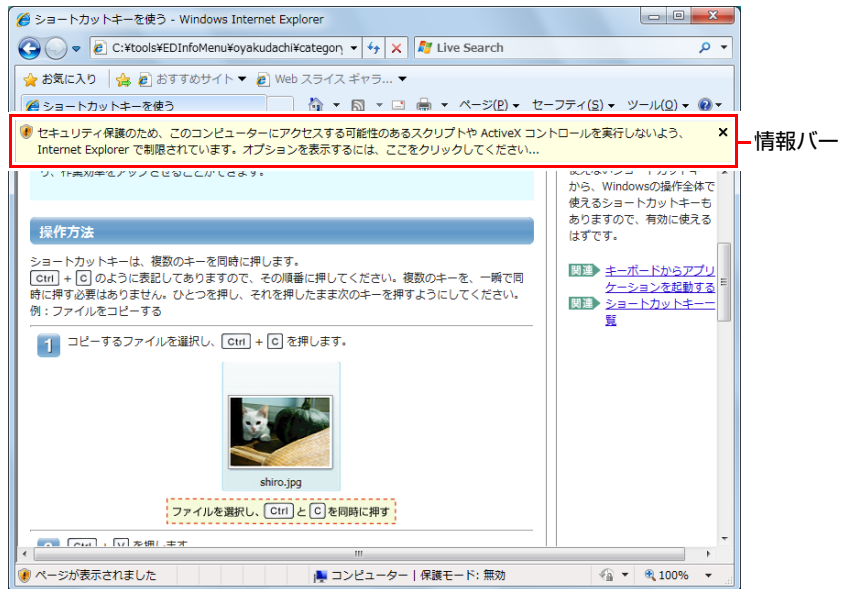
各ソフトウェアの使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次をご覧ください。

「各ソフトウェアのヘルプ」
「PCお役立ちナビ」 – 「お役立ち」

Internet Explorerで情報バーが表示されたら

購入時のInternet Explorerは、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう設定されています。Internet Explorer使用时、情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処をしてください。



Internet Explorerの便利な追加機能

本機にはInternet Explorerの便利な機能として、次のソフトウェアが添付されています。

- JWord

Internet Explorerのアドレスバーにキーワードを入力して、検索を行うことができます。

- gooスティック

Internet Explorerツールバー上の「goo」検索ボックスにキーワードを入力して、検索を行うことができます。

- マカフィー・サイトアドバイザープラス

Webサイトの安全性評価を表示するツールです。「マカフィー・サイトアドバイザープラス」を使用する場合は、Internet Explorerのツールバー上の「McAfee SiteAdvisor」ボタンからユーザー登録を行ってください。

セキュリティーソフトウェア「マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版」側でユーザー登録を行った場合、登録は不要です。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

▶ Windows Update

「Windows Update」は、本機のWindowsの状態を確認し、Windowsの更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。Windowsを最新の状態にするため、Windows Updateを行ってください。

自動更新の設定

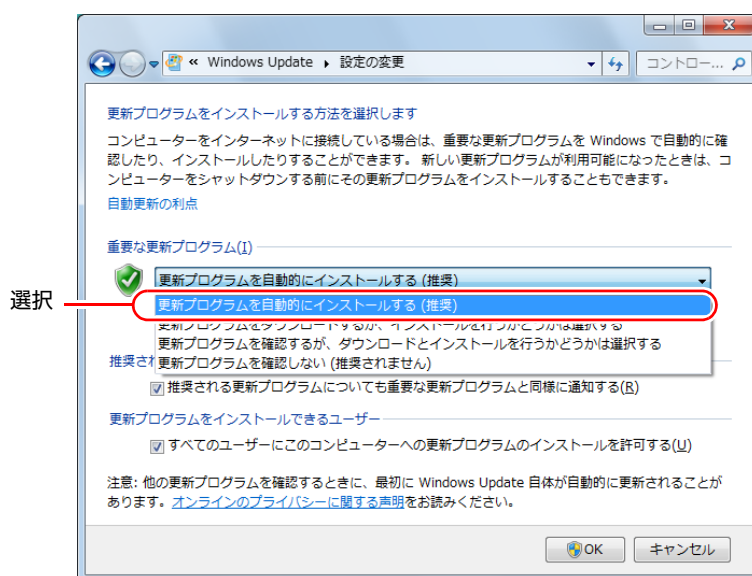
本機を使用する際は、自動でWindows Updateが行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

Windowsのセットアップ時に「コンピューターの保護と…」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

【スタート】-【すべてのプログラム】-【Windows Update】-【設定の変更】



▶セキュリティーソフトウェア

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティーソフトウェアを必ず使用してください。

マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能を備えた「マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版」がインストールされています。

※購入時の選択によっては、インストールされていません。

マカフィー・PCセキュリティーセンター 90日期間限定版の詳細は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「セキュリティーソフトウェアをご使用の前に」



サポート情報

正しく動作しない場合など、マカフィー製品に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

● マカフィー・インフォメーションセンター

マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-010-220

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1899

受付時間9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-030-088

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-1792

受付時間9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く)

- マカフィー・テクニカルサポートセンター

ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ

マカフィー・サポートWeb

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・チャットサポート

<http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-060-033

IP 電話、光電話の場合 : 03-5428-2279

受付時間9:00 ~ 21:00 (年中無休)

(FAX によるお問い合わせは受け付けておりません)

市販のセキュリティーソフトウェアを使う

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版をアンインストール（削除）してください。アンインストール方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「マニュアルびゅうわ」－「セキュリティーソフトウェアをご使用前に」

▶Webフィルタリングソフトウェア

Webフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Webフィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。


i-フィルター 30日版を使う

本機には、「Webフィルタリング」機能を持つ「i-フィルター 30日版」が添付されています。

家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへのアクセスを制限したいときなどは、i-フィルター30日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30日版のインストール

購入時、本機にはi-フィルター 30日版はインストールされていません。

インストール方法は、 p.91 「i-フィルター 30日版のインストール」をご覧ください。


市販のWebフィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30日版はインストールしないでください。

1 デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。



<i-フィルターアイコン>

「i-フィルター…」画面が表示された場合は、ユーザー登録が完了していません。ユーザー登録を行ってから再度設定を行ってください。

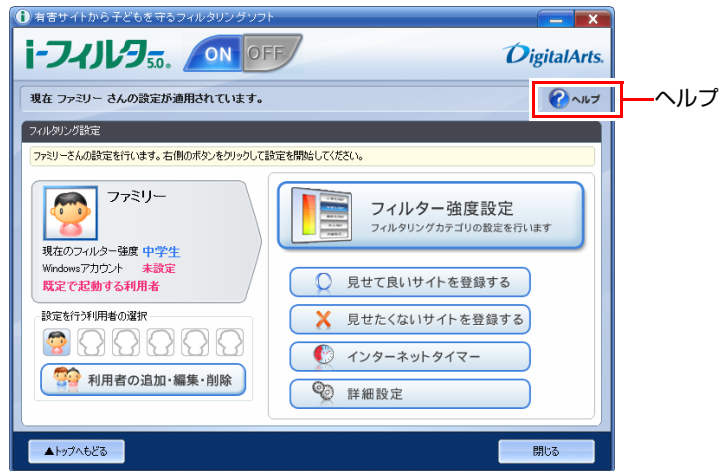
 p.92 「i-フィルター 30日版のユーザー登録」

2 「管理パスワードの入力」画面が表示されたら、管理パスワードを入力して [OK] をクリックします。

3 「i-フィルター」の「トップページ」が表示されたら、「フィルタリング設定」をクリックします。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30日版の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。



<イメージ>



ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティーソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30日版の利用期限

i-フィルター 30日版の利用期限は、ユーザー登録後30日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

<継続して利用する場合>

継続利用の手続き（有償）をオンラインで行ってください。

 p.54 「i-フィルター 30日版のサポート」



本機に添付のi-フィルター 30日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用手続きを行うことはできません。

<継続して利用しない場合>

i-フィルター 30日版のアンインストールを行ってください。

i-フィルター 30日版のアンインストール方法は、デジタルアーツ社のホームページの「よくある質問」をご覧ください。



p.54 「i-フィルター 30日版のサポート」

i-フィルター 30日版のサポート

i-フィルター 30日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能


ここでは、本機の省電力機能について説明します。


▶本機を省電力状態にする

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。ここでは、省電力状態に移行する方法や、省電力状態からの復帰方法について説明します。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような制限事項があります。移行する前に、確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ ソフトウェアを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 -  p.58 「時間経過で移行させない」
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ 外部接続記憶装置（USB FDDや外付け光ディスクドライブなど）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能などを使っての通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する

 p.58 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- **ディスプレイの電源を切る**

省電力の効果はスリープ状態より低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

- **スリープ状態**

作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが点滅します。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープ状態には次の2つがあり、作業中の内容の保存方法が異なります。

- **ハイブリッドスリープ（初期値）**

スリープと休止状態を合わせたスリープです。

作業中の内容はメモリーとHDDの両方に保存されます。

- **スリープ**

作業中の内容はメモリーのみに保存されます。

- **休止状態**


作業内容をHDDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

休止状態を有効にする

本機では、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには設定を行ってください。

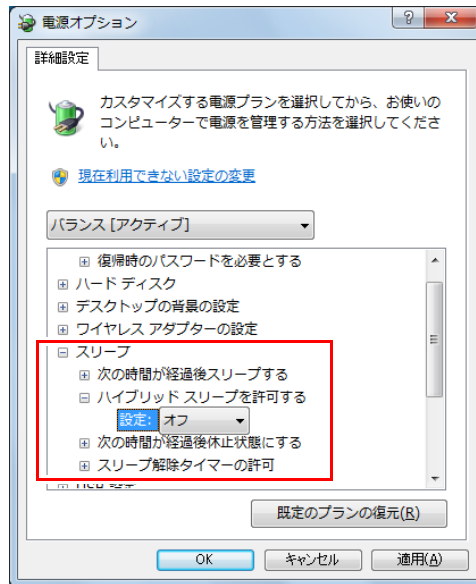


休止状態を有効にすると、スリープ状態がハイブリッドスリープからスリープに変わります。

 p.56 「省電力状態の種類」

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
- 2 「スリープ」 - 「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。
- 3 [OK] をクリックします。



▶省電力状態に移行する方法

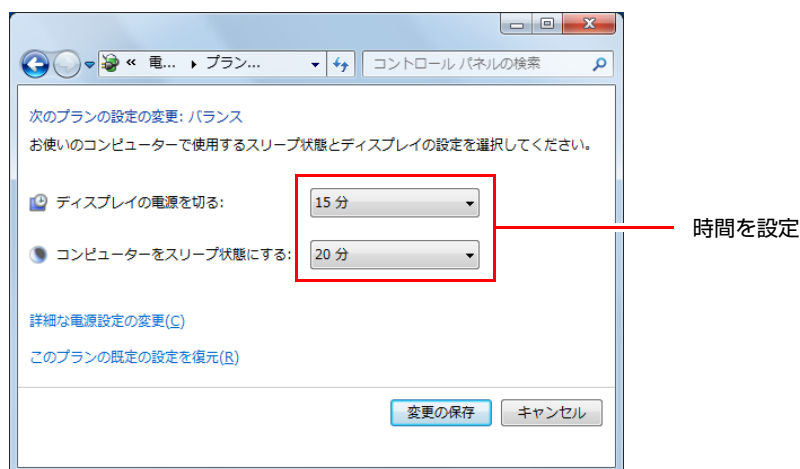
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で、時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープ状態になります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

【スタート】－【コントロールパネル】－【システムとセキュリティ】－【電源オプション】－各プランの【プラン設定の変更】



時間経過で移行させない

外部接続記憶装置（USB FDDや外付け光ディスクドライブなど）へデータの書き込みを行う場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
【スタート】－【>】から項目を選択する	スリープ、休止状態*

*購入時は表示されません。

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ (Ⓛ) で確認できます。

動作状態	電源ランプの表示
通常	点灯 (青色)
HDD/ディスプレイの電源切断	点灯 (青色)
スリープ	点滅 (青色)
休止状態	消灯
電源切断時	消灯

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次の通りです。

省電力状態	電源ランプ	復帰方法
HDD/ディスプレイの電源が切れている状態	点灯 (青色)	キーボードやマウスを操作する
スリープ	点滅 (青色)	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● キーボードを操作またはマウスをクリックする
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

第2章 BIOSの設定

本機の基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

「BIOSの設定を始める前に」	61
「BIOS Setupユーティリティーの操作」	62
「BIOS Setupユーティリティーの設定項目」	71

BIOSの設定を始める前に



制限

当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対に行わないでください。

BIOSは、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は「BIOS Setupユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効/無効にする場合

BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

BIOS Setupユーティリティで変更した内容はCMOS RAMと呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命


BIOS Setupユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約5年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。

そのような場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。


動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、次の方法で設定値を戻すことができます。

- 購入時の設定と変更後の設定をあらかじめ記録しておき、手動で戻す。
万が一に備え、設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.71 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」

- 初期値や、前回保存した設定値に戻す。

 p.66 「設定値を元に戻す」

BIOS Setupユーティリティーの操作

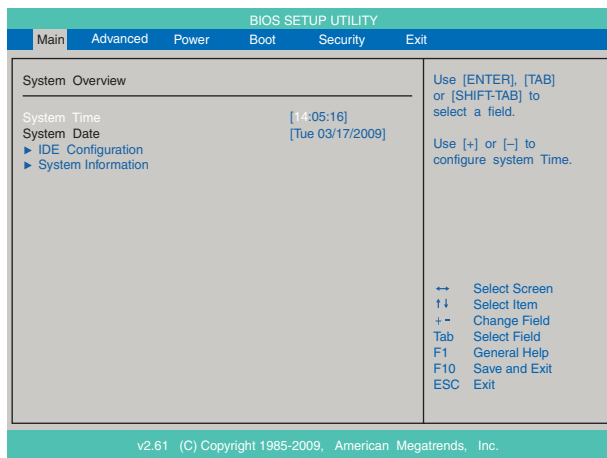
ここでは、「BIOS Setup ユーティリティー」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- HDDアクセス制限

▶ BIOS Setupユーティリティーの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **Delete** の位置を確認してください。
手順2ではすばやく **Delete** を押す必要があります。

- 1 本機の電源を入れます。**
すでにWindowsが起動している場合は再起動します。
- 2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **Delete** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。**
Windowsが起動してしまった場合は、再起動して手順2をもう1度実行してください。
- 3 「BIOS Setupユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。**




< BIOS Setupユーティリティー画面 (イメージ) >

仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

Press F1 to Run SETUP
Press F2 to load default values and continue

このメッセージが表示されたら **F1** を押してBIOS Setupユーティリティを起動します。通常は、そのまま「Save Changes and Exit」を実行してBIOS Setupユーティリティを終了します。

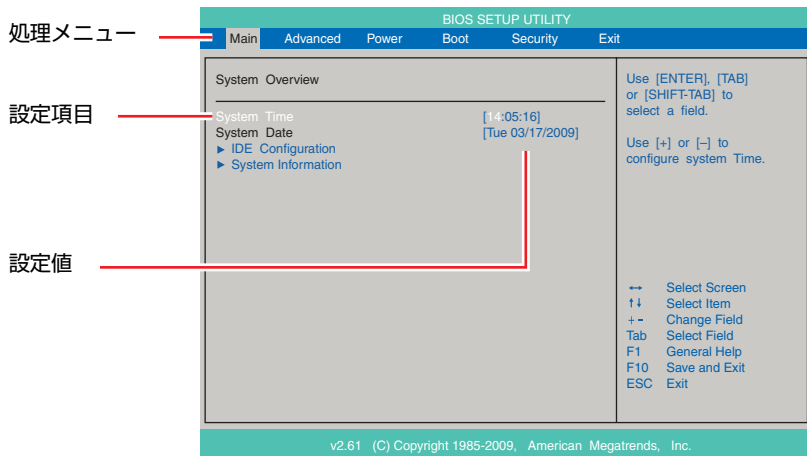
 p.66 「BIOS Setupユーティリティの終了」

▶ BIOS Setupユーティリティの操作

「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

画面の構成

BIOS Setupユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。この画面で設定値を変更することができます。





<メニュー画面>



ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.71 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」をご覧ください。

操作方法

BIOS Setupユーティリティの操作方法は次のとおりです。

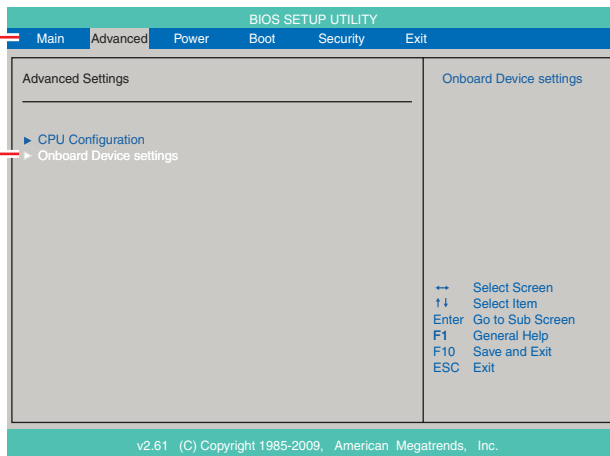
- 1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニュー画面に移動し、設定項目を選択します。

  でメニュー間を移動します。

  で設定値を変更したい項目まで移動します。


処理メニュー

設定項目を
選択



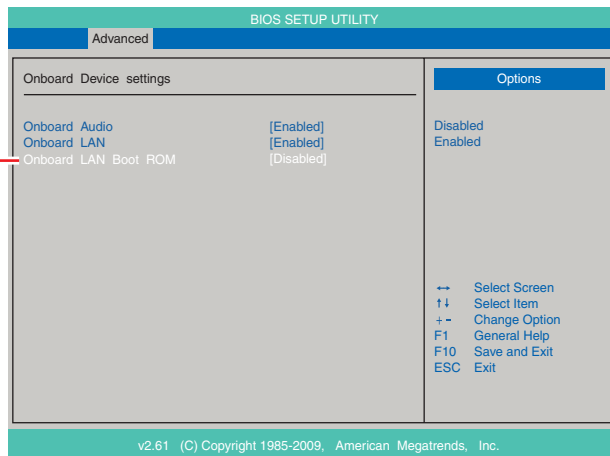
<メニュー画面>

<▶のある項目の場合>


▶のある項目の場合、 を押すとサブメニュー画面が表示されます。

  で設定値を変更したい項目まで移動します。

設定項目を
選択

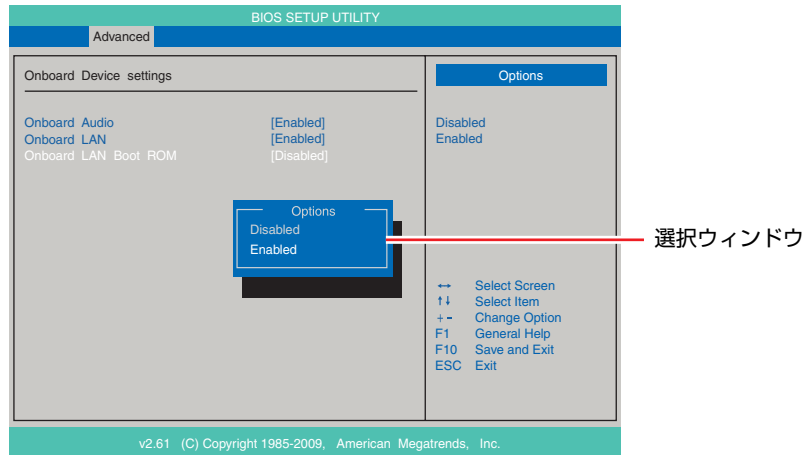


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには  を押します。

2 設定値を変更します。

← を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し ← で決定します。



キー操作

BIOSの画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	<ul style="list-style-type: none"> ● 変更した内容を破棄し、終了します。 ● サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
-, +	項目の値を変更します。
↵	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面中の▶のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。 ● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 ● 設定値を選択します。
F5	全設定項目の値を初期値に変更します。
F7	前回保存した設定値に戻します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

▶ BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setupユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes and Exit（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **[F10]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit setup?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、**[↵]** を押します。

Discard Changes and Exit（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard changes and exit setup?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、**[↵]** を押します。

▶ 設定値を元に戻す

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setupユーティリティの設定を初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Setup Defaults（初期値に戻す）

BIOS Setupユーティリティの設定を初期値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **[F5]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。


Load Setup Defaults ?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [Ok] を選択して、**[↵]** を押します。

Load Setup Defaults実行後の作業

次の場合は、Load Setup Defaultsを実行したあとに、BIOSの設定値を設定しなおしてください。

設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。

 p.66 「Save Changes and Exit（変更した内容を保存し終了する）」

Discard Changes（前回保存した設定値に戻す）

BIOS Setupユーティリティを終了せずに、前回保存した設定値に戻します。

- 1 を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard Changes ?	
<input type="button" value="[Ok]"/>	<input type="button" value="[Cancel]"/>

- 2 を選択して、 を押します。

▶パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でBIOSのパスワードを設定すると、BIOSやWindowsの起動時にパスワードを要求されるようになります。


パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
(HDDアクセス制限など)

パスワードの種類


パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードでBIOSにログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードでBIOSにログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます (権限は、設定変更することができます)。



 p.69 「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法


パスワードの設定方法は、次のとおりです。


- 1 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password

- 2 パスワードを入力し、 を押します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。
- 3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm New Password

同じパスワードを入力しないと、「Passwords do not match !」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押すと、BIOSのメニュー画面に戻ります。この場合、手順1からやりなおしてください。

- 4** 「Password installed.」というメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。

パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Installed」に変わります。




設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、BIOSの設定変更や、設定によってはWindowsの起動ができなくなります。万一、パスワードを忘れた場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

続いて、「ユーザーパスワードの権限」や、「どこでパスワードを要求するか」を決めて設定します。


ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードでBIOSにログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.75 「Securityメニュー画面」－「User Access Level」


パスワード入力タイミングの設定

BIOS Setupユーティリティー起動時や、Windows起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。


 p.75 「Securityメニュー画面」－「Password Check」

パスワードの削除方法


管理者パスワードおよびユーザーパスワードの削除方法は、次のとおりです。パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでBIOSにログオンしてください。管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザーパスワードも削除されます。

- 1** 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password

- 2** 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Password uninstalled.
[Ok]

- 3** [Ok] が選択された状態で  を押します。

「Supervisor Password」または「User Password」の表示が「Not Installed」に変わります。

これでパスワードが削除されました。

▶HDDアクセス制限

HDDアクセス制限の設定をすると、次の状態になります。

- BIOSやWindows起動時、休止状態からの復帰時に管理者パスワードを要求されるようになる
- HDDをほかのコンピューターに接続した場合、認識されないようになる

HDDへの無断アクセスや、万が一HDDが盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDDアクセス制限の設定をします。

HDDアクセス制限の設定方法

HDDアクセス制限の設定方法は次のとおりです。

- 1 管理者パスワードを設定します。**
 p.68 「パスワードの設定方法」
- 2 HDDアクセス制限の設定をします。**
「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定します。
 p.75 「Securityメニュー画面」

解除方法

HDDアクセス制限の解除方法は次のとおりです。

- 1 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Disabled」に設定します。**
 p.75 「Securityメニュー画面」



パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定したHDDは使用できなくなります。
登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

BIOS Setupユーティリティーの設定項目

ここでは、「BIOS Setupユーティリティー」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。BIOS Setupユーティリティーのメニュー画面には、次の6つのメニューがあります。

- Mainメニュー画面
日付、時間の設定や本機の仕様を表示します。
- Advancedメニュー画面
CPUに関する設定、マザーボード上の機能やデバイスの設定などを行います。
- Powerメニュー画面
省電力機能や起動に関する設定を行います。
- Bootメニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Securityメニュー画面
パスワードやセキュリティーに関する設定を行います。
- Exitメニュー画面
BIOS Setupユーティリティーを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻したりします。

▶ Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間の設定や本機の仕様を表示します。設定項目は、次のとおりです。

___は初期値
*は項目表示のみ

System Time		時刻を設定します。(時間:分:秒)の順で表示されます。	
System Date		日付を設定します。(曜日 月/日/年)の順で表示されます。	
IDE Configuration HDDの仕様を表示します。	1st Drive	* Device	機器の種類を表示します。
		* Vendor	HDDの型番を表示します。
		* Size	HDDの容量を表示します。
		* Ultra DMA	HDDのUltra DMA転送モードを表示します。
System Information 本機の仕様を表示します。	* AMI BIOS		BIOSの情報を表示します。
	* Version		BIOSのバージョンを表示します。
	* Build Date		BIOSのバージョンの制定日を表示します。
	* Processor		CPUの情報を表示します。
	* Type		CPUの型番を表示します。
	* Speed		CPUの周波数を表示します。
	* Count		CPUコアの数を表示します。
	* System Memory		本機に搭載されているメモリーの情報を表示します。
* Size		メモリー容量を表示します。	

▶ Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPUに関する設定、マザーボード上の機能やデバイスの設定などを行います。

設定項目は、次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ


CPU Configuration 本機に搭載されているCPUに関する情報を表示します。	* Manufacturer	メーカーを表示します。
	* Type	型番を表示します。
	* Frequency	周波数を表示します。
	* FSB Speed	バススピードを表示します。
	* Cashe L1	CPUのL1キャッシュ容量を表示します。
	* Cache L2	CPUのL2キャッシュ容量を表示します。
	* Ratio Actual Value	ベースクロックに対する倍率を表示します。
Onboard Device Settings マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。	Onboard Audio	マザーボード上のサウンド機能を使用するかを設定します。 Disabled : 使用しません。 <u>Enabled</u> : 使用します。
	Onboard LAN	マザーボード上のネットワーク機能を使用するかを設定します。 Disabled : 使用しません。 <u>Enabled</u> : 使用します。
	Onboard LAN Boot ROM	リモートブート機能の有効/無効を設定します。 <u>Disabled</u> : 無効にします。 Enabled : 有効にします。 [Enabled] に設定して再起動すると、「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」に「4th Boot Device」として表示されます。

▶Power メニュー画面

「Power」メニュー画面では、省電力機能や起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

Suspend to RAM		スリープの設定をします。 Disabled : ディスプレイなどの電源が切れます。電力消費は通常より若干抑えられる程度です。 Enabled : メモリー以外の電源が切れます。消費電力はほとんどありません。
APM Configuration 起動する方法や条件を設定します。	※Power On by PCI Devices	ネットワークからの信号により本機を起動できるようにするかどうかを設定します。 詳細は  p.45 「Wakeup On LAN」をご覧ください。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。
	Power On by RTC Alarm	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled : 設定しません。 Enabled : 設定します。
	RTC Alarm Date (Days)	「Power On by RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。起動させる日を設定します。
	System Time	「Power On by RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。起動させる時間を設定します。
	Restore on AC Power Loss	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Power Off : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Power On : 電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピューターが起動します。 Last State : コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。

※ **Enabled** (有効) に設定しているときに、電源コードを抜き、再び接続すると、コンピューターが一瞬起動する場合がありますが、不具合ではありません。

▶Bootメニュー画面


「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

____は初期値

*は項目表示のみ



Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	コンピューター起動時にロゴを表示するかを設定します。 Disabled：表示しません。 Enabled：表示します。
	Bootup Num-Lock	DOS起動時のNumLockの状態を設定します。 Off：NumLockが押されていない状態にします。 On：NumLockが押された状態にします。
Boot Device Priority Windowsを起動するドライブの順番を設定します。	1st Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。外付け光ディスクドライブを接続した場合、初期値は、外付け光ディスクドライブ「USB: (外付け光ディスクドライブの型番)」です。外付け光ディスクドライブを接続していない場合は、本機に搭載のHDDが設定されます。
	2nd Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。外付け光ディスクドライブを接続した場合、初期値は、本機に搭載のHDD「SATA: (HDDの型番)」です。
	3rd Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。USB機器（光ディスクドライブ以外）を接続した場合、初期値は、「USB: (USB機器の型番)」です。
	4th Boot Device	ネットワークから起動する場合に使用します。「Advanced」メニュー画面－「Onboard Device Settings」－「Onboard Lan Boot ROM」を「Enabled」に設定してから「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択してBIOSを終了します。再度BIOSを起動すると表示されます。初期設定は「Network:Realtek Bo」です。
Hard Disk Drives	* 1st Drive	本機に搭載されているHDDの型番を表示します。
Removable Drives	* 1st Drive	USB機器（光ディスクドライブ以外）を接続すると、型番を表示します。
CD/DVD Drives	* 1st Drive	外付け光ディスクドライブを接続すると、型番を表示します。

▶ Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードやセキュリティに関する設定を行います。
パスワードの設定方法は、 p.68 「パスワードを設定する」をご覧ください。
設定項目は、次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

*Supervisor Password/User Password	Supervisor Password（管理者パスワード）とUser Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Installed : パスワードが設定されています。 <u>Not Installed</u> : パスワードが設定されていません。
Change Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更を行います。設定を行うと、「BIOS Setupユーティリティ」起動時やシステム起動時にパスワード入力を要求されます。  を押すとパスワード設定ウィンドウが表示されます。
User Access Level ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	「User Password」（ユーザーパスワード）で「BIOS Setupユーティリティ」にアクセスするときのアクセス制限レベルを4段階で設定します。 No Access : ユーザーパスワード使用者は「BIOS Setupユーティリティ」を起動することができません。 View Only : ユーザーパスワード使用者は「BIOS Setupユーティリティ」を閲覧できますが、設定項目の変更はできません。 Limited : 「BIOS Setupユーティリティ」を閲覧できるほかに、ユーザーパスワードなど一部の設定項目を変更できます。 <u>Full Access</u> : ユーザーパスワード使用者に管理者と同一の権利を許可します。「BIOS Setupユーティリティ」のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。ただし、管理者パスワードの変更はできません。
Change User Password	ユーザーパスワードの設定や変更を行います。「BIOS Setupユーティリティ」起動時やシステム起動時にパスワード入力を要求します。  を押すとパスワード設定ウィンドウが表示されます。
Password Check ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	管理者パスワード、ユーザーパスワードを設定している場合に、パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 <u>Setup</u> : 「BIOS Setupユーティリティ」起動時にパスワード入力を要求します。 Always : 「BIOS Setupユーティリティ」起動時、システム起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。
Hard Disk Protection ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	HDDへのアクセス制限の有効/無効を設定します。アクセス制限を有効に設定したHDDは、ほかのコンピューターに接続しても認識されなくなります。 有効に設定すると、BIOS、システムへのアクセスが制限され、BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。 <u>Disabled</u> : HDDへのアクセスを制限しません。 Enabled : HDDへのアクセスを制限します。

▶Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、BIOS Setupユーティリティを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻します。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Discard Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Discard Changes	BIOS Setupユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Setup Defaults	BIOS Setupユーティリティの設定値を、BIOSの初期設定値に戻します。

▶BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくくと便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

Advanced メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
Onboard Device Settings	Onboard Audio	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard LAN Boot ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

Power メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容		
Suspend to RAM		Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
APM Configuration	Power On by PCI Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Power On by RTC Alarm	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Restore on AC Power Loss	Power Off	Power On	Last State	Power Off	Power On	Last State

Boot メニュー画面

項 目		購入時の設定		変更内容	
Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Bootup Num-Lock	Off	On	Off	On
Boot Device Priority	1st Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	2nd Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	3rd Boot Device	Disabled	()	Disabled	()
	4th Boot Device	Disabled	()	Disabled	()

Security メニュー画面

項 目	購入時の設定		変更内容	
Supervisor password	Not Installed	Installed	Not Installed	Installed
User password	Not Installed	Installed	Not Installed	Installed
*User Access Level	No Access Limited	View Only Full Access	No Access Limited	View Only Full Access
*Password Check	Setup	Always	Setup	Always
*Hard Disk Protection	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

* 管理者パスワードを設定すると表示されます。

第3章 ソフトウェアの 再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

「再インストールする前に必ずお読みください」	79
「ソフトウェアの再インストールを行う」	81

再インストールする前に必ずお読みください

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に知っておいていただきたい情報について記載しています。

再インストールとは

本書では、HDDをフォーマットして、Windowsや本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。再インストールは「リカバリー」とも言います。


再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因でWindowsが起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD領域の構成を変更したい場合

Windowsを修復する

なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows回復環境」でWindowsの修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.108 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「トラブル解決」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

▶重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外のBIOSへのアップデート禁止

当社製以外のBIOSへのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外のBIOSにアップデートすると、再インストールができなくなります。

Webフィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付のWebフィルタリングソフトウェア「i-フィルター 30日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windowsを再インストールすると利用期限が30日に設定されてしまいます。

この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアルIDを利用してインストールを行ってください。

詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup_dl.htm

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

PCお役立ちナビのバックアップ

サポートツール「PCお役立ちナビ」に収録されているコンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）は、再インストールをすると消えてしまいます。

再インストールの前に、必ずバックアップをとってください。



p.115 「PCお役立ちナビのデータをバックアップする」

ソフトウェアの再インストールを行う

ここでは、ソフトウェアの再インストール方法について記載しています。


▶必要な機器とメディア

再インストールには、次の機器とメディアが必要です。

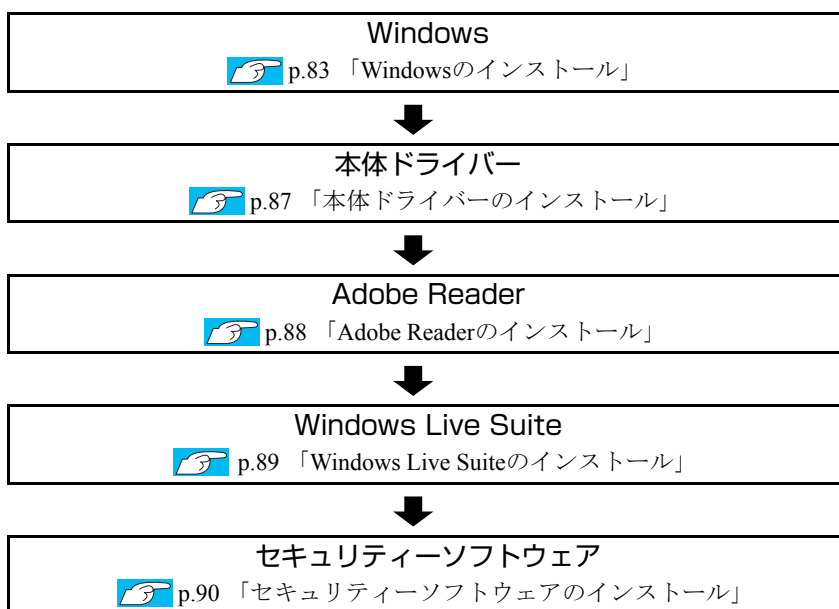
- 外付け光ディスクドライブ
本機には光ディスクドライブが搭載されていません。使用するメディアに応じた外付け光ディスクドライブを本機に接続してください。
- Windows 7リカバリー DVD
Windowsが収録されているDVD-ROMです。
- ドライバー CD
本体ドライバー、Adobe Readerなどが収録されているCD-ROMです。
- そのほか必要なメディア
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

▶インストールの順番

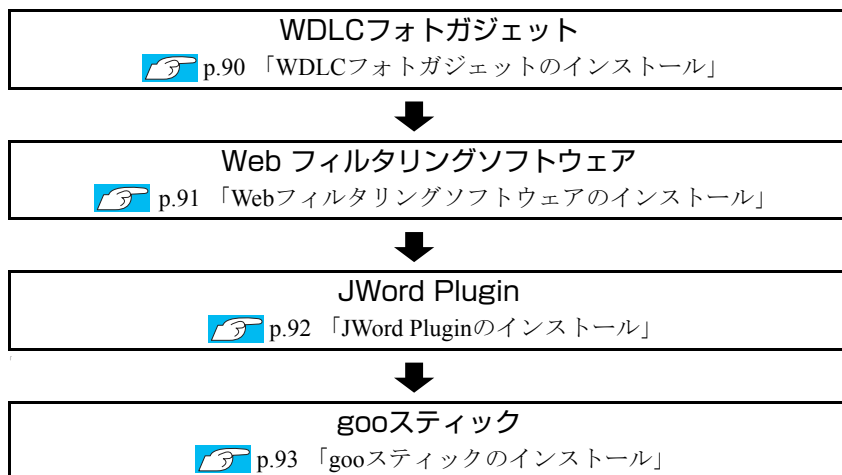
再インストールは、次の順番で行います。

購入時のインストール状態は、 p.15 「添付されているソフトウェア」で確認してください。

必ずインストールするソフトウェア



必要に応じてインストールするソフトウェア



▶インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

管理者 (Administrator) のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。

システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOSの設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。実際の外付け光ディスクドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

Cドライブ : HDD
Dドライブ : 外付け光ディスクドライブ

各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

p.84 「バックアップを取る」


初期設定ツール

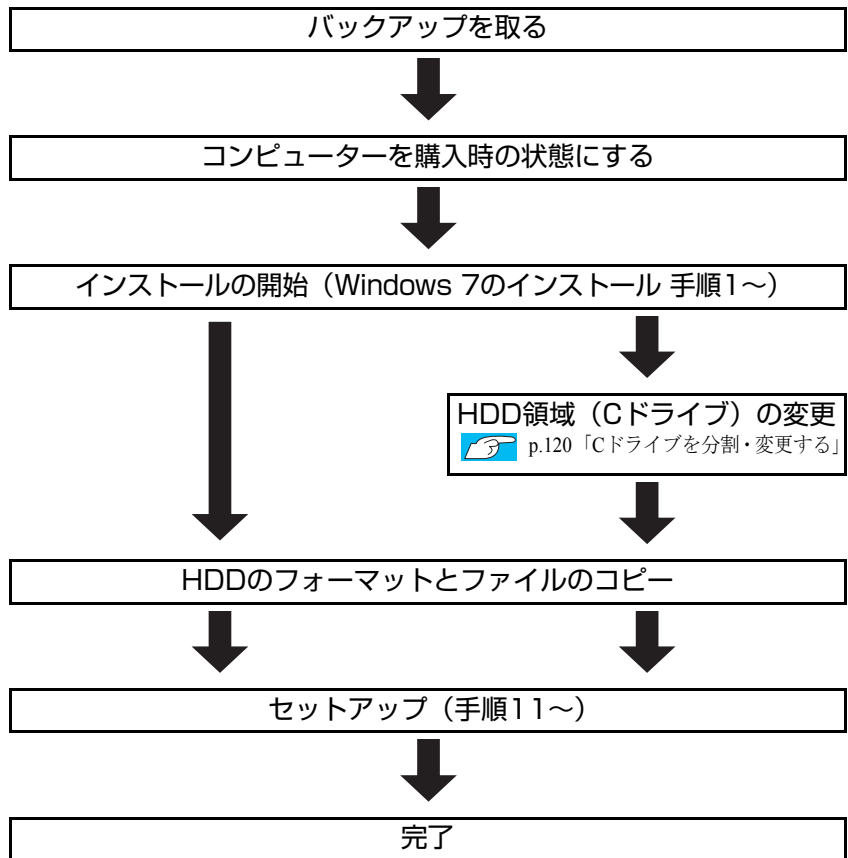
初期設定ツールは、Windowsを再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

▶Windowsのインストール

インストールの流れ


Windowsのインストールの主な流れは次のとおりです。

インストール作業は、 p.84「Windows 7をインストールする」以降の手順に従って行ってください。



HDD領域 (Cドライブ) を変更するには

Windowsのインストール中にCドライブ (Windowsがインストールされている領域) のサイズを変更したり、分割したりすることができます。


HDD領域の変更や、分割についての詳しい説明は、 p.117 「HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成」をご覧ください。

▶ Windows 7をインストールする

バックアップを取る

Cドライブの設定やデータは、Windowsの再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。


- PCお役立ちナビのデータ

 p.115 「PCお役立ちナビのデータをバックアップする」

- ネットワークの設定


接続に関する設定を書き写しておいてください。

- Internet Explorerの「お気に入り」・Windowsメールの「連絡先」「メールデータ」

 p.115 「データのバックアップ」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- そのほかの重要なデータ

 p.115 「データのバックアップ」

コンピューターを購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。


外付け光ディスクドライブを接続する

インストールに使用するメディアに応じた外付け光ディスクドライブを、本機に接続してください。

BIOSで起動デバイスの順番を変更する

外付け光ディスクドライブを接続したら、「BIOS Setupユーティリティ」で起動デバイスの順番を変更します。


- 1** 「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。

 p.62 「BIOS Setupユーティリティの起動」


- 2** **[F5]** を押して、BIOSの値を初期値に戻します。


 p.66 「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」

- 3** **[F10]** を押して、BIOS Setup ユーティリティを一旦終了します。

 p.66 「BIOS Setupユーティリティの終了」

- 4** 再度、「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。


 p.62 「BIOS Setupユーティリティの起動」

- 5 「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」－「1st Boot Device」を「USB：(外付け光ディスクドライブの型番)」に設定します。
 p.74 「Bootメニュー画面」
- 6  を押して、BIOS Setup ユーティリティを終了します。
 p.66 「BIOS Setupユーティリティの終了」

これで、起動デバイスの順番変更は完了です。

Windows 7のインストール

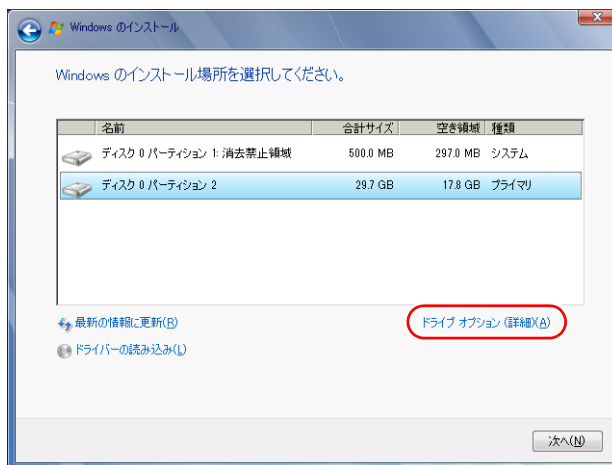
Windows 7のインストール方法は、次のとおりです。

- 1 「Windows 7リカバリーDVD」を外付け光ディスクドライブにセットします。「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。ここからはインストールを行いません。
- 2 [スタート] - [D] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。Windowsが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windows の起動に伴う…」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」をクリックします。
- 7 「インストールを開始しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。
- 8 「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

10 「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。

<領域変更を行わない場合（通常）>

(1) 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



<イメージ>


(2) 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。

(3) 「パーティションには…」と表示されたら、[OK] をクリックします。フォーマットが開始されます。

(4) フォーマットが終了すると、[次へ] がクリックできる状態になります。「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で [次へ] をクリックします。

Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。手順11の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。

<領域変更を行う場合>

 p.118 「Cドライブを分割・変更する」の手順に従ってください。

11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、[次へ] をクリックします。

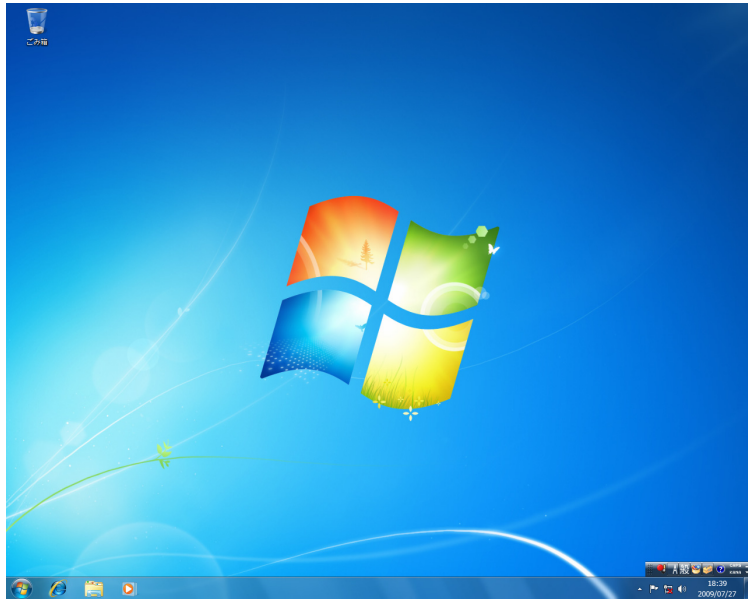
12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、[次へ] をクリックします。

13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

14 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。


- 15 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。
- 16 Windowsのデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows 7リカバリーDVD」を取り出します。



これでWindowsのインストールは完了です。

- 17 手順10で領域変更を行った場合は、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。

領域（パーティション）の作成は、ドライバーやソフトウェアのインストールが終了してから行ってもかまいません。

 p.121 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

▶本体ドライバーのインストール

本機のマザーボード上に搭載されているデバイスのドライバー類を、一括してインストールします。インストールの手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
- 5** 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK] をクリックします。
各ドライバーが自動的にインストールされます。
インストールには数分かかります。
- 6** 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
- 7** 「インストール処理」画面が表示されたら、インストールが正常に完了していることを確認し、[PC再起動] をクリックします。
Windows が再起動したら、本体ドライバーのインストールは完了です。

▶ Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

インストール

Adobe Readerのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] – 「コンピューター」 – 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「Adobe Reader」をクリックします。
- 5** 「インストール先のフォルダ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6** 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、[インストール] をクリックします。
インストールにはしばらく時間がかかります。
- 7** 「セットアップ完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
これで、Adobe Readerのインストールは完了です。
続いて、Adobe Readerのセットアップを行います。

セットアップ


インストールが完了したら、続いてセットアップを行います。Adobe Readerのセットアップ手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「Adobe Reader」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「使用許諾契約書」が表示されたら、「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。
同意する場合は、「同意する」をクリックします。「同意しない」を選択すると、Adobe Readerは使用できません。
これで、Adobe Readerのインストールは完了です。

▶ Windows Live Suiteのインストール

「Windows Live Suite」は、「Windows Liveメール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。

Windows Live Suiteのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exe の実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」－「コンピューター」－「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「Windows Live」をクリックします。
- 5 「サービス利用規約」と表示されたら、「同意する」をクリックします。
- 6 「インストールする製品を選択してください」と表示されたら、インストールしたい製品にチェックを付けて、「インストール」をクリックします。
購入時にインストールされている製品は、 p.26「Windows Live Suite」に記載しています。
- 7 「もう少しで完了です」と表示されたら、「続行」をクリックします。
- 8 「Windows Liveへようこそ！」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。
これで、Windows Live Suiteのインストールは完了です。

▶セキュリティソフトウェアのインストール

本機に添付のセキュリティソフトウェア「マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版」をインストールします。

市販のセキュリティソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版のインストール

マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版のインストール方法は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「McAfee PC Security Center 90日版」をクリックします。
- 5** マカフィーのインストール画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

▶WDLCフォトガジェットのインストール

「WDLCフォトガジェット」は、デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。

WDLCフォトガジェットのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exe の実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「WDLC フォトガジェット」をクリックします。
これでWDLCフォトガジェットのインストールは完了です。

▶Webフィルタリングソフトウェアのインストール

本機に添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。i-フィルター 30日版は、有害サイトをブロックするためのWebフィルタリングソフトウェアです。

市販のWebフィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

i-フィルター 30日版のインストール

i-フィルター 30日版のインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「i-フィルター 30日版」をクリックします。
- 5** 「i-フィルター…インストール」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6** 「使用許諾契約」と表示されたら、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 7** 「セットアップタイプ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8** 「インストール準備の完了」と表示されたら、[インストール] をクリックします。

デスクトップ上に「i-フィルター」アイコンが表示されたら、i-フィルター 30日版のインストールは完了です。

続いて、i-フィルター 30日版のユーザー登録を行います。

i-フィルター 30日版のユーザー登録

i-フィルター 30日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。
ユーザー登録はインターネット接続後に行います。
ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。
Windowsを再起動した場合は、「i-フィルター・・・」画面が自動的に表示されます。
- 2** 「i-フィルター・・・」画面が表示されたら、使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、「[i-フィルター] を使ってみる」をクリックします。
- 3** 「[i-フィルター] の開始」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。

▶ JWord Pluginのインストール

「JWord Plugin」は、Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。

JWord Pluginのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「[ドライバー CD]」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「[自動再生]」画面が表示されたら、「[Install.exeの実行]」をクリックします。
「[自動再生]」画面が表示されない場合は、「[スタート]」－「[コンピューター]」－「[EPSON_CD]」をダブルクリックします。
- 3** 「[ユーザーアカウント制御]」画面が表示されたら、「[はい]」をクリックします。
- 4** 「[ドライバー・ソフトウェアのインストール]」画面が表示されたら、「[JWord Plugin]」をクリックします。
- 5** 「[JWordプラグイン…へようこそ]」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

▶gooスティックのインストール

「gooスティック」は、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。

gooスティックのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を外付け光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピューター」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「gooスティック」をクリックします。
- 5 「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK] をクリックします。これで、gooスティックのインストールは完了です。

▶そのほかのインストール

必要に応じて次のインストールを行ってください。

各種ドライバーのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバーやユーティリティー、ソフトウェアなどのインストールが必要です。インストールは、オプション機器類に添付されているメディアを使用して行ってください。

参考

インストールが必要なドライバーの例

お使いになるシステム構成によって、次のようなドライバーやユーティリティーが必要になります。

- USB対応機器を使用する場合 : USB機器に添付のドライバー
- プリンターを使用する場合 : プリンターに添付のドライバー

キーボードユーティリティーのインストール

キーボードのユーティリティーCDが添付されている場合は、ユーティリティーをインストールします。

そのほかのソフトウェアのインストール


「Office」など、そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。インストール方法はソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

▶再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

領域の作成

Windowsのインストール中にHDD領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windowsの「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。


 p.122 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

ネットワークの設定

再インストールの前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークの設定を行います。

バックアップしたデータの復元

再インストール前にバックアップしておいたデータを復元します。

 p.115 「データのバックアップ」

- PCお役立ちナビのデータ
- Internet Explorer、Windows Liveメールの設定
- 重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

Windows Update

Windowsの再インストールを行うと、今までに行った「Windows Update」のプログラムがインストールされていない状態に戻ります。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、Windowsが最新の状態になります。

 p.49 「Windows Update」

第4章 困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

「トラブルが発生したら」	96
「起動・画面表示できないときは」	98
「トラブル時に効果的な対処方法」	105

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

▶ 起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PCお役立ちナビ」の[トラブル解決]で対処方法を探してください。

ダブルクリック

<PC お役立ちナビアイコン>

トラブルの
種類を選択
します

候補の中から見たい
項目を選択すると、
内容が表示されます

The image shows a sequence of steps to access the PC Support Navigator. It starts with a double-click on the PC Support Navigator icon. The next screenshot shows the main interface with the 'トラブル解決' (Troubleshooting) button highlighted. A final screenshot shows the 'トラブル解決' page with the 'コンピュータ本体' (Computer Hardware) category selected in the left sidebar. The main content area displays information about 'コンピュータの管理者と制限付きアカウント' (Computer Administrators and Limited Accounts).

Windowsのトラブルシューティングツール


Windows 7にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【システムとセキュリティ】 - 【コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング】



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。


▶ 起動・画面表示できない場合

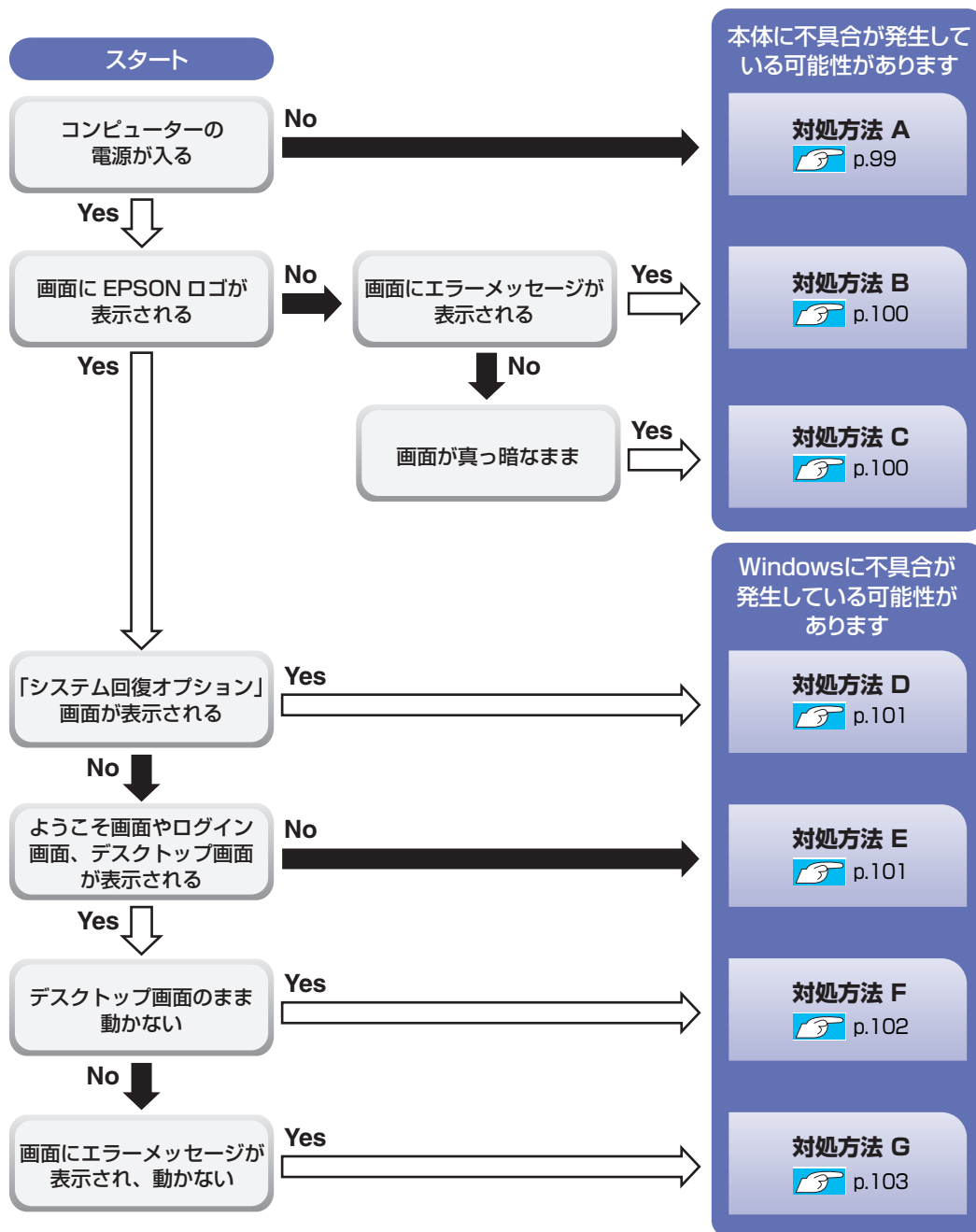
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.98 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

▶ 診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.99 「対処をする」へ進んでください。



▶対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。対処を行っても不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 コンピューターへの電源供給を確認する

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ACアダプター、電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 壁のコンセントに直接接続する

電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。

4 消費電力の大きい機器を停止する

大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。


5 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

6 電源保護回路を解除する

過電流によってコンピューターが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（キーボード、マウス、ディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 B

まず、 p.104 「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。エラーメッセージに応じた対処を行ってください。あてはまるメッセージがない場合は、次の対処を順番に行ってみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

1 ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

2 ディスプレイケーブルを接続しなおす

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

3 別のディスプレイを接続する

ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。

4 コンピューターへの電源供給を確認する

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ACアダプター、電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

5 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


6 電源保護回路を解除する

過電流によってコンピューターが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（キーボード、マウス、ディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 D

次の対処を行ってみてください。

1 Windows 回復環境 (Windows RE) で不具合対処をする

 p.109 「システム回復オプション」画面が表示されたら」

対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす


電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す


本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。


 p.106 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。

 p.106 「システムの復元」


4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

 p.107 「前回正常起動時の構成で起動する」


5 BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。

 p.66 「設定値を元に戻す」

6 Windows RE を使う


「Windows 回復環境 (Windows RE)」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

 p.108 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

7 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。

Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.78 「ソフトウェアの再インストール」

対処方法 F

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす


電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.106 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。


 p.106 「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.106 「システムの復元」


4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

 p.107 「前回正常起動時の構成で起動する」


5 Windows REを使う

「Windows回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windowsを修復してみてください。

 p.108 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

6 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.81 「ソフトウェアの再インストールを行う」

対処方法 G


次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす


電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う


必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.106 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。


 p.106 「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.106 「システムの復元」


3 Windows REを使う

「Windows回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windowsを修復してみてください。

 p.108 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

4 Windowsを再インストールする

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.81 「ソフトウェアの再インストールを行う」

▶エラーメッセージ一覧








本機は、起動時に自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次のメッセージが表示された場合には、対処を行ってください。

対処を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

メッセージ	説明と対処方法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	<ul style="list-style-type: none"> ● ブートデバイスにシステムがない場合は、「BIOS Setupユーティリティー」－「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」で、システムの入ったデバイスを設定してください。 ● ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。
CMOS Battery Low	バックアップ用電池の容量が不足して、CMOS RAMの内容を保持できません。テクニカルセンターまでご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOSの設定が正しく行われていません。BIOS Setupユーティリティーを起動して、「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択してください。
CMOS Date/Time Not Set	日付と時間の設定が正しく行われていません。BIOS Setupユーティリティーを起動し、日付と時刻の設定をなおしてから「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Exit」を選択してください。

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
セーフモードで起動  p.106 必要最低限の状態ではWindowsを起動します。	● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止  p.106 不具合のある常駐ソフトを停止します。	● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
システムの復元  p.106 Windowsを以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
前回正常起動時の構成で起動  p.107 Windowsを前回正常起動できた状態に戻します。	● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードでも起動できないとき）
BIOSの初期化  p.66 BIOSの設定を初期値に戻します。	● BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
Windows回復環境 (Windows RE)  p.108 Windowsを修復します。	● 「システム回復オプション」画面が表示されたとき ● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール  p.81 本機を購入時の状態に戻します。	● Windowsが正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき） ● HDDの領域を分割したいとき
システム診断ツール  p.110 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	● 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

▶セーフモードでの起動

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20秒程放置してから電源を入れます。
- 2 EPSONと表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押して「セーフモード」を選択し、**←** を押します。
セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

▶常駐ソフトの停止

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼働中、常に稼働しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、**↵** を押します。
- 2 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。
- 3 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

▶システムの復元

コンピューターの動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行ってWindowsを以前の状態（復元ポイントが作成された時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。

- 2** 「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。
復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。
- 3** [次へ]をクリックします。
- 4** 復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、[次へ]をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了]をクリックします。
- 6** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい]をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 7** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

▶ 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

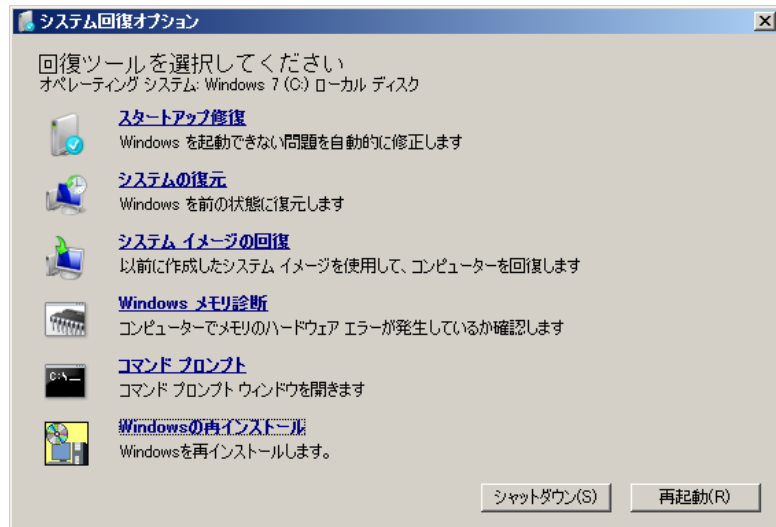
- 1** シャットダウン状態からコンピューターの電源を入れます。
- 2** 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3** 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押し、**←** を押します。

▶ Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機のHDDとWindows 7リカバリーDVD内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、不具合に対処することができます。

Windows RE の項目

Windows REには、次の項目があります。




<イメージ>

- **スタートアップ修復**

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

- **システムの復元**

コンピューターの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。Windowsの動作が不安定な場合に行ってみてください。

 p.106 「システムの復元」

問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

- **システムイメージの回復**

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windowsやソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」－「トラブル解決」－「Windowsの操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

- Windows メモリ診断
メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。
- コマンドプロンプト
コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windows に不具合が起きると、HDD 内の Windows RE が自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順で Windows RE の項目を表示させ、対処を行います。

- 1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 2 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 3 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.108 「Windows RE の項目」

HDD 内の Windows RE を手動で起動する

HDD 内の Windows RE は、手動で起動することもできます。

手動で起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **[F8]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、**[↓]** を押します。
- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.108 「Windows RE の項目」

DVD のWindows RE を使用する

Windows RE は、本機に添付の「Windows 7リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されているWindows RE を消去してしまった場合などに使用してください。

DVD に収録されているWindows RE の起動方法は、次のとおりです。

- 1** 「Windows 7リカバリーDVD」を外付け光ディスクドライブにセットして、コンピューターを再起動します。
- 2** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
- 3** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 4** オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

 p.108 「Windows RE の項目」

▶システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の2種類があります。

- PCお役立ちナビから起動するシステム診断ツール

PCお役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windowsを起動できる場合に使用します。

- CDから起動するシステム診断ツール

Windowsが起動できない場合に、「ドライバー CD」からツールを起動してシステム診断を行います。

システム診断を実行する

Windowsを起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windowsを起動できる場合

PCお役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「PCお役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。



<PCお役立ちナビアイコン>

- 2 PCお役立ちナビが起動したら、[トラブル解決] – [システム診断ツール起動] をクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 4 システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。
該当項目の診断が開始されます。
- 5 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windowsを起動できない場合

「ドライバー CD」からシステム診断ツールを起動します。
実行方法は、次のとおりです。

- 1 ドライバー CDを外付け光ディスクドライブにセットして、コンピューターを再起動します。
- 2 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 3 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。
『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

- 4** 外付け光ディスクドライブからドライバーCDを取り出し、電源を切ります。
これでシステム診断は完了です。

付録

お手入れ方法やHDD領域の作成方法、仕様などについて説明します。

「お手入れ」	114
「データのバックアップ」	115
「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」	117
「リチウム電池の交換」	125
「コンピューターを廃棄するときは」	126
「機能仕様一覧」	128

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

▶本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装の汚れ

コンピューター本体の外装の汚れは、柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。

キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



- 本機をたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

データのバックアップ

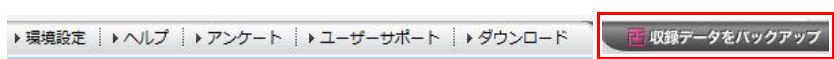
Windowsを再インストールすると、Windowsがインストールされるドライブ（通常Cドライブ）に保存しているデータはすべて消去されます。Windowsを再インストールする前に、必要なデータのバックアップを取っておいてください。

▶PCお役立ちナビのデータをバックアップする

PCお役立ちナビに収録されている、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）は、Windowsを再インストール（リカバリー）すると、消えてしまいます。Windowsの再インストールをする際は、事前にバックアップを行ってください。

バックアップ方法

光ディスクメディアやUSB記憶装置をセットしてから、PCお役立ちナビ画面右下の「収録データをバックアップ」をクリックし、画面の指示に従ってバックアップを行ってください。



復元方法

バックアップしたデータの入った光ディスクメディアやUSB記憶装置をセットしてから、PCお役立ちナビ画面右下の「バックアップ情報を復元」をクリックし、画面の指示に従って復元を行ってください。



コンテンツやマニュアルデータをダウンロードする

データのバックアップを取らずに再インストールをしてしまった場合は、Webのユーザーサポートページから、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）をダウンロードします。



ダウンロードしたマニュアル類（ユーザーズマニュアル以外）は、PC お役立ちナビには復元できません。マニュアルごとにファイル（PDF）を開いてご覧ください。

ダウンロード

PCお役立ちナビで、コンテンツやマニュアルを表示する際、画面に「コンテンツデータが存在しません」と表示されたら、メッセージ内のリンクからユーザーサポートページにアクセスし、コンテンツ類やマニュアルデータ（PDF）をダウンロードします。

復元

ダウンロードしたファイル内に記載されている復元方法に従って、データを復元します。

検索情報の再構築

マニュアルとコンテンツ類を復元したら、検索情報の再構築を行います。画面下 [環境設定] 内の [検索情報の再構築] をクリックしてください。

▶データのバックアップ方法

作成したファイルやInternet Explorerの「お気に入り」など、HDD内のデータをバックアップする方法やバックアップしたデータを復元する方法は、次の場所をご覧ください。

「PCお役立ちナビ」 - 「トラブル解決」 - 「Windowsの操作」 - 「バックアップ」 - 「Windows転送ツールを使う」

HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成

ここでは、HDD領域（ドライブ）を分割・変更して使用方法について説明します。

▶HDD領域を分割して使用する（概要）

HDD領域（ドライブ）の分割

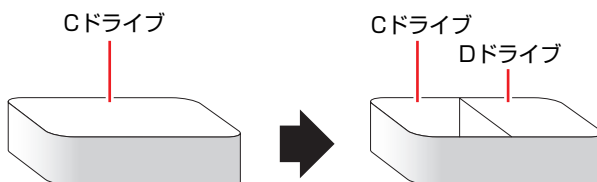
HDD領域は、いくつかに分けて、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

HDDを分割したひとつひとつを「HDD領域」または「パーティション」とも言います。

また、Windowsで使えるHDD領域が、「ドライブ」になります。

<1台のHDDを分割する>

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を、2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割します。

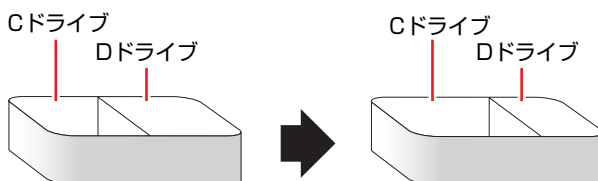


HDD領域（ドライブ）のサイズの変更

すでに分割されているHDD領域のサイズ（容量）を変更することもできます。

<ドライブのサイズを変更する>

例：Cドライブのサイズを大きくします。



この場合は、CドライブとDドライブを削除して、分割しなおす必要があります。

▶Cドライブを分割・変更する

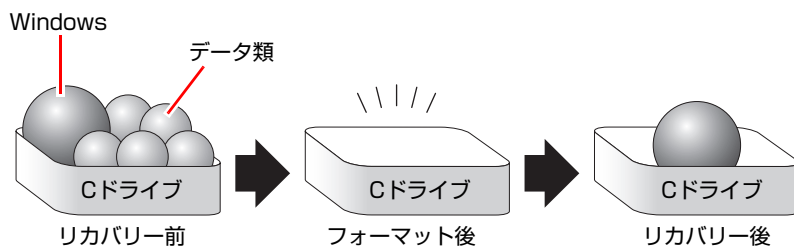
Cドライブ分割のメリットとデメリット

Cドライブを分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。
Cドライブを分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

●メリット

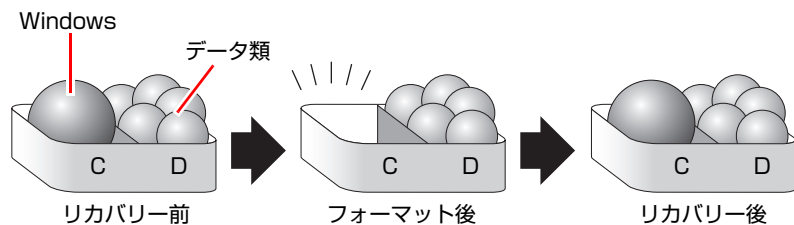
HDD領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、リカバリー時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。

<HDD領域が1つの場合>



リカバリー（Windowsの再インストール）を行うと、Cドライブのデータはすべて消去されます。

<HDD領域を分割した場合>



たとえば、WindowsやソフトウェアはCドライブに、作成したデータなどはDドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリー（Windowsの再インストール）を行うと、消去されるのはCドライブのみとなるため、Dドライブのデータは、リカバリー後、すぐにそのまま使用することができます。



制限


HDDが分割されている状態でリカバリーを行うときは、万が一に備えてCドライブ以外のドライブの重要なデータもバックアップしてください。

● デメリット

- Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割を行うには、リカバリー（Windowsの再インストール）が必要です。
- HDD 領域を変更すると、変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。


Cドライブの分割・変更の流れ

Cドライブの分割・変更は、リカバリー（Windowsの再インストール）中に行います。サイズ（容量）を変更するには、まず変更するドライブを削除してからサイズを指定して再作成します。


Cドライブ以外のドライブの変更方法は、 p.121 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

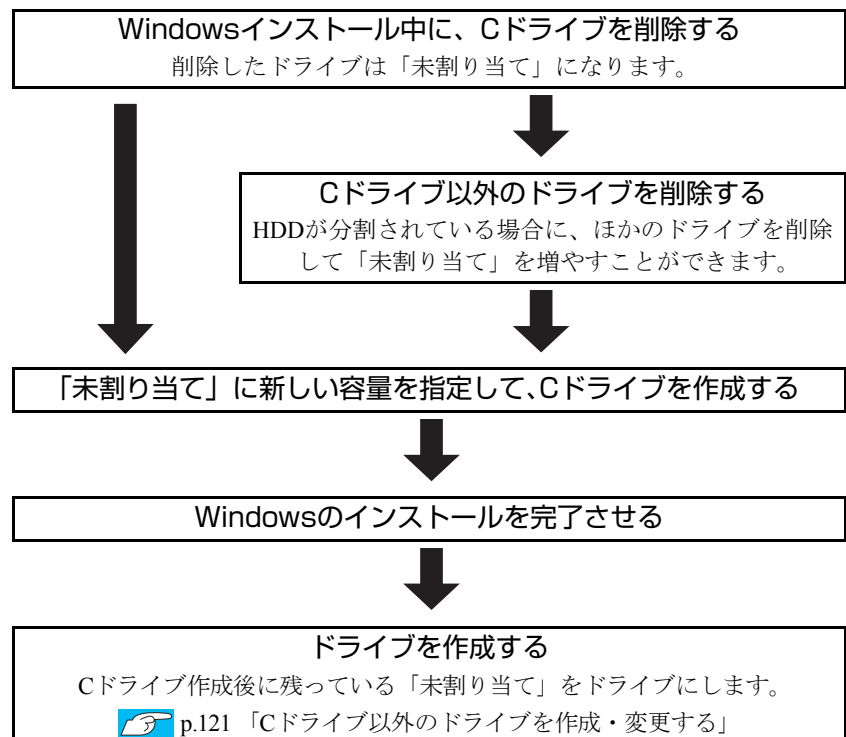


ドライブを分割・変更すると、分割・変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。必要に応じてバックアップを取っておいてください。

 p.115 「データのバックアップ」


Cドライブの分割・変更の流れは次のとおりです。


作業は  p.120 「Cドライブを分割・変更する」に従ってください。



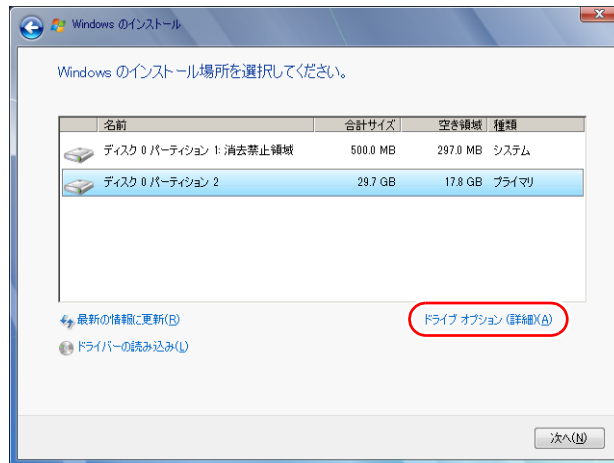
Cドライブを分割・変更する

Cドライブの分割・変更をする場合は、Windowsの再インストールが必要です。

 p.85 「Windows 7のインストール」の手順10を次の手順に読み替えて、Windowsのインストールを行ってください。

<  p.85 「Windows 7のインストール」の手順10の読み替え >

1 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



<イメージ>

2 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。

3 「パーティションには…」と表示されたら、[OK] をクリックします。

削除したパーティション（Cドライブ）が「未割り当て領域」となります。

4 次のとおり作業を続けます。

<Cドライブを分割したい場合>

(1) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

手順5に進みます。


<Cドライブの容量を増やしたい場合>

すでにHDDが分割されている場合は、Cドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

(1) そのほかのパーティションもCドライブと同様に削除し、「ディスク0未割り当て領域」を増やします。

(2) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。


手順5に進みます。

- 5** Cドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、[適用] をクリックします。
Cドライブには、40GB (40000MB) 程度を割り当てることをおすすめします。
- 6** 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で、[次へ] をクリックします。
Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分~40分かかります。
続いて  p.85 「Windows 7のインストール」手順11に進みます。
手順11の画面が表示されるまで、キーボードやマウスは操作しないでください。


▶Cドライブ以外のドライブを作成・変更する

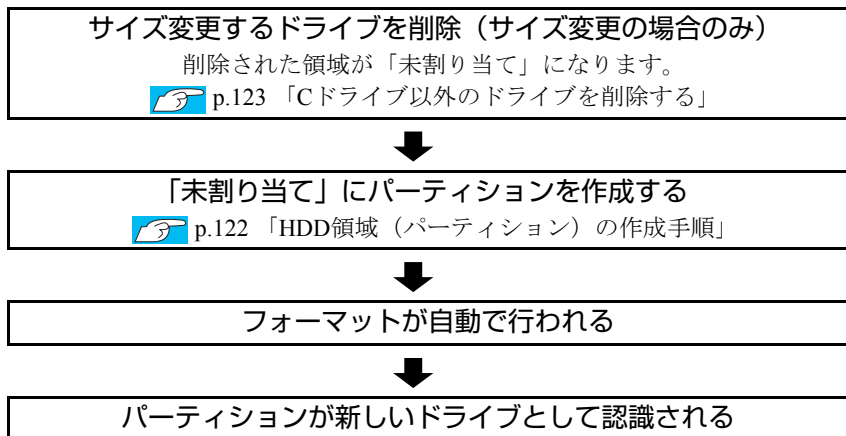
ここでは、Cドライブ以外のドライブを作成・変更する方法について説明します。
次のような場合にご覧ください。

- Cドライブ以外のドライブのサイズを変更する場合
- Windowsの再インストール中にCドライブを分割して作成・変更された「未割り当て」をドライブにして使用する場合

Cドライブ (Windowsの入っているドライブ) の分割・変更を行う場合は、
 p.118 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

ドライブ作成・変更の流れ

ドライブの作成の流れは次のとおりです。
作業は  p.122 「HDD領域(パーティション)の作成手順」に従ってください。



※ HDD内の「未割り当て」にパーティションを作成すると、パーティションは、Windows上でドライブ (DやEなど) として利用できるようになります。

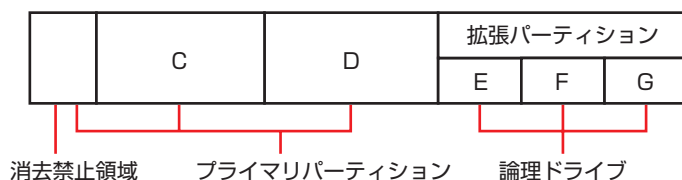
参考

パーティションとは

ドライブの作成・変更を行う画面（ディスクの管理）では、HDD領域のことを「パーティション」と言います。パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。

- 1つのHDDに作成できるパーティションは最大で4つです。「消去禁止領域」もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

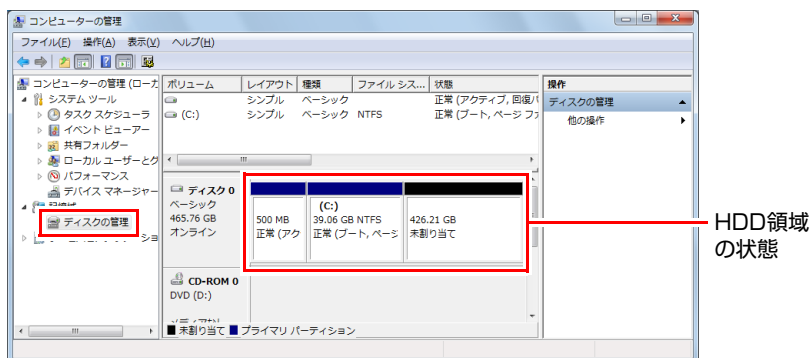
<パーティションの組み合わせの例>



HDD領域（パーティション）の作成手順

HDD領域（パーティション）を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「管理ツール」 - 「コンピューターの管理」 をダブルクリックします。
- 2 「コンピューターの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。
HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

- 3 パーティションを作成したい「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。

- 4 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 5 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 6 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 7 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、HDD領域（パーティション）の作成は完了です。

▶Cドライブ以外のドライブを削除する

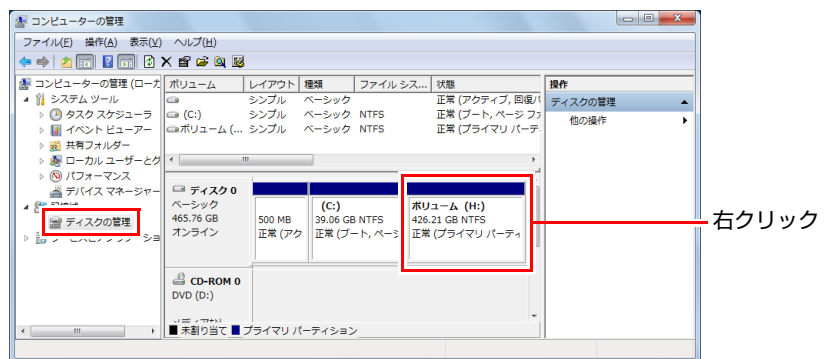
Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のサイズを変更するには、変更するドライブを削除してから、作成しなおします。

ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。ドライブ内の重要なデータは、CドライブやCD-Rメディアなどにあらかじめバックアップを行ってください。

ドライブを削除する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「管理ツール」 - 「コンピューターの管理」をダブルクリックします。
- 2 「コンピューターの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

3 削除したいドライブ（パーティション）を右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。

4 「・・・続行しますか？」と表示されたら【はい】をクリックします。
パーティションを削除すると、「未割り当て」になります。「未割り当て」をパーティションとして使用したい場合は、パーティションの作成を行います。



p.122 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

リチウム電池の交換

BIOS Setupユーティリティで設定した情報は、本機内部のリチウム電池によって保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況によって異なりますが、ACアダプターからの電源供給がまったくない場合、本機のリチウム電池の寿命は約5年です。

日付や時間が異常になったり設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。『サポート・サービスのご案内』(別冊)をご覧ください、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄するときには『サポート・サービスのご案内』（別冊）の「コンピューターの廃棄・譲渡について」をご覧ください。

▶HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前にHDDのデータを消去してください。

「ドライバー CD」から起動するシステム診断ツールには、HDD内のデータをすべて消去する機能が備わっています。










消去を開始すると、HDDのデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

データの消去

HDD内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、ドライバー CD を外付け光ディスクドライブにセットします。
「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [D] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたあと、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。システム診断ツールが起動し、自動的に診断を開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止したあと、どれかキーを押します。
- 5** 選択項目画面が表示されたら、 で「HD Erase」を選択して  を押します。
- 6** 選択項目画面が表示されたら、 で「Full Erase」を選択して  を押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択して  を押します。「!!WARNING!!」画面が表示されます。
消去が開始されると、途中で止めることはできません。
消去を中止する場合は、 を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。

- 8** キーボードで「Yes」と入力します。
消去が始まります。
消去には、HDD容量が160GBの場合で約60分かかります。
- 9** 「Erase of HDO :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、ドライバー CDを外付け光ディスクドライブから取り出して、本機の電源を切ります。
これで、データの消去は完了です。

機能仕様一覧

型番		NP12
CPU	プロセッサ	インテル ATOMプロセッサ
チップセット		SiS672 + SiS968
BIOS		AMI BIOS
メインメモリー	メモリー	容量：1GB PC2-5300 (DDR2-533 SDRAM)
	スロット	SODIMMスロット (200ピン) ×1
ビデオ機能	コントローラー	チップセット内蔵SiS Mirage™3 + グラフィックス
	メモリー (メインメモリーと共用)	メインメモリーより128MB使用
	表示解像度 (最大) *1	1600×1200 1920×1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ) True Color 32ビット (約1,677万色)
HDD		容量：160GB シリアルATA対応 2.5型HDD
サウンド機能		インテルハイ・デフィニション・オーディオ対応 Realtek製ALC662コントローラー
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応 Realtek製RTL8111DLコントローラー
キーボード (オプション)		購入時の選択による
マウス (オプション)		購入時の選択による
インタフェース	USB	6 (前面×2、背面×4) : USB2.0
	LAN	1 : RJ-45
	サウンド	前面：ヘッドホン出力×1、マイク入力×1 背面：ライン出力×1
	ディスプレイ	1 : VGA ミニD-SUB 15ピン
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		20×153.5×172.5mm (本体のみ) 74.5×153.5×198.5mm (スタンド含む)
質量		約790g (スタンド含む)
電源	ACアダプター *2 (ADP-40MH)	入力：AC100～240V±10% (50/60Hz)、1.5A 出力：DC 19V、2.1A、40W 質量：約266g (電源コード含む)
消費電力		47.6W (最大) /14.0W (通常時) /1.3W (スリープ時) /1.1W (電源OFF時)
動作環境		動作温度：10～35℃、動作湿度：20～80% (ただし、結露しないこと)

*1 本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度であり、接続するディスプレイの仕様によっては表示できない場合があります。

*2 本機に搭載されている電源コードはAC100V用 (日本仕様) です。本製品は国内専用ですので海外でお使いの場合は保証対象外となります。

索引

A

ACアダプターコネクタ	14
Administrator	82
Adobe Reader	15
インストール	88
セットアップ	89

B

BIOS	61
BIOS Setupユーティリティ	62
HDDアクセス制限	70
起動	62
終了	66
設定項目	71
設定値	76
設定値を元に戻す	66
操作	63
パスワードの設定	68

C

Caps Lock	32
Cドライブ	82
分割・変更する	118
Cドライブ以外のドライブ	
削除する	123
作成・変更する	121

G

gooスティック	16, 48
インストール	93

H

HDDアクセス制限	70
HDDアクセスランプ	13
HDD領域	
分割・変更・作成	117

HDD(ハードディスクドライブ)	34
データを消去する	126

I

Internet Explorer	46
情報バー	47
追加機能	48
i-フィルター 30日版	16, 52
インストール	91

J

Java2 Runtime Environment	15
JWord Plugin	16, 48
インストール	92

L

LAN機能	44
LANケーブル	44
LANコネクタ	44

M

MS-IME	31
--------	----

N

Num Lock	32
----------	----

O

OS	10
----	----

P

PCお役立ちナビ	15, 28
データのバックアップ	115

S

Scroll Lock	32
Supervisor Password(管理者パスワード)	68

U	
USB機器	36
接続と取り外し	36
USBコネクタ	13, 14
User Password(ユーザーパスワード)	68
V	
VGAケーブル	14
VGAコネクタ	14
W	
Wakeup On LAN	45
WDLCフォトガジェット	15
インストール	90
Webフィルタリングソフトウェア	52
Windows 7	
インストール	85
使い方	22
Windows 7リカバリーDVD	15, 81
Windows Live Suite	15, 26
インストール	89
Windows Liveメール	26, 46
Windows RE	108
Windows Update	49
Windows回復環境	108
Windows メモリ診断	109
あ	
アイコン	11
アップデート	
Windows	49
い	
インストール	
Adobe Reader	88
gooスティック	93
i-フィルター 30日版	91
JWord Plugin	92
WDLCフォトガジェット	90
Windows 7	85
Windows Live Suite	89
キーボードユーティリティ	93
本体ドライバー	87
マカフィー・PCセキュリティセンター	
90日期間限定版	90
インターネット	46
え	
エラーメッセージ	104
お	
オーディオ機器の接続	40
お手入れ	114
オペレーティングシステム	10
音量の調節	41, 43
か	
解像度	38
拡張パーティション	122
各部の名称と働き	13
かな入力	31
画面表示できないときは	98
管理者	24, 82
管理者パスワード(BIOS)	68
き	
キーボード	30
キーボードユーティリティのインストール	93
キーロック表示ランプ	30
起動順位の変更	74
機能キー	30
機能仕様一覧	128

休止状態.....	56
有効にする.....	57
強制終了.....	21

く

クリック.....	33
-----------	----

こ

困ったときは.....	95
コマンドプロンプト.....	109
コントロールパネルの表示.....	23
コンピューターウイルス.....	50
コンピューターの廃棄.....	126

さ

再インストール.....	79
再起動.....	20
サウンド機能.....	40
サウンドコネクタ.....	13, 14, 40, 41
サウンドドライバ.....	15
サウンドユーティリティ.....	42

し

システムイメージの回復.....	108
システム診断ツール.....	15, 16
システムの復元.....	108
シャットダウン.....	19
消去禁止領域.....	34, 122
常駐ソフトの停止.....	106
使用できるマイク.....	40
省電力	
移行する.....	58
時間経過で移行させない.....	58
種類.....	56
注意.....	55
復帰方法.....	59

使用・保管時の注意.....	6
初期値に戻す (BIOS).....	66

す

数値キー.....	30
スクロール.....	33
スタートアップ修復.....	108
スタートボタン.....	11
スタートメニュー.....	11
スピーカー.....	40
スリープ.....	56
復帰方法.....	59

せ

制御キー.....	30
製品保護上の注意.....	6
セーフモード.....	106
セキュリティソフトウェア.....	15, 50
インストール.....	90
接続と取り外し	
USB機器.....	36
設定値を元に戻す (BIOS).....	66
セットアップ	
Adobe Reader.....	89
前回正常起動時の構成で起動する.....	107

そ

ソフトウェア	
強制終了.....	21
再インストール.....	81

た

タスクバー.....	11
タブ.....	11
ダブルクリック.....	33

ち

直接入力モード 31

つ

通知領域 11

通風孔 13

て

ディスプレイの電源を切る 56

デスクトップ 11

電源スイッチ 13

電源ランプ

表示 59

電源を入れる 18

電源を切る 19

添付されているソフトウェア 15

と

ドライバーCD 81

ドライブ名 82

ドラッグアンドドロップ 33

トラブルシューティングツール 97

「取り外し」アイコン 37

に

日本語入力システム 31

日本語入力モード 31

入力キー 30

ね

ネットワーク 44

ネットワークドライバー 15

は

パーティション 122

ハードディスクドライブ (HDD)

データを消去する 126

廃棄 (コンピューター) 126

ハイブリッドスリープ 56

パスワードの設定 (BIOS) 68

バックアップ 34, 84

ハングアップ 21

ひ

ビデオドライバー 15

標準ユーザー 24

ふ

フォルダーメニュー 23

復帰方法

省電力状態 59

プライマリパーティション 122

プロバイダー 46

へ

ヘッドホン出力コネクタ 13, 40

ほ

ボタン 11

ボリューム 41, 43

本体ドライバー

インストール 87

ま

マイク 40

マイク使用時の音量調節 43

マイク入力コネクタ 13, 40

マウス 33

製品保護上の注意 8

マカフィー・PCセキュリティセンター

90日期間限定版 15, 50

インストール.....	90
マカフィー・サイトアドバイザープラス.....	48
マニュアルびゅうわ.....	29

み

右クリック.....	33
------------	----

も

文字キー.....	30
文字を入力するには.....	31

ゆ

ユーザーアカウント.....	24
作成.....	24
ユーザーアカウント制御画面.....	25
ユーザーパスワード (BIOS).....	68

ら

ライン出力コネクタ.....	14, 41
----------------	--------

り

リカバリー.....	79
リチウム電池の交換.....	125
リモートブート.....	45
領域の作成.....	94

ろ

ローマ字入力.....	31
録音	
音量調節.....	43
論理ドライブ.....	122

使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でのご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

パソコン回収について



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

Macrovision著作権保護技術について

本製品が採用しているMacrovision著作権保護技術は、米国特許 (Nos. 5,315,448 and 6,836,549) および知的財産権により保護されています。Macrovision Corporationの認可なしに、この技術を使用することはできません。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

* Macrovision著作権保護技術とは、DVDなどの映像コピー防止に関する技術です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載 (改編して掲載する場合も含む) するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者 (放送事業者や実演家などの隣接権者を含む) の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows 7、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlook は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intelロゴ、インテルAtomは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- McAfeeおよびマカフィーは、米国法人McAfee, Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

そのほかの社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。



shop.epson.jp

